

新潟県立出雲崎高等学校 教職員研修

アセスの概要と分析・活用(後半)

本研修資料は公益財団法人学校教育開発研究所(AISES)による資料などを参考に本校で作成したものです。
つきましては、本研修資料に関するご意見やご質問等がありましたら、本校までお願いいたします。



1. これからの生徒指導の取組

2. アセスメントの重要性

3. アセスの基本

4. アセス個人表の読み方

5. アセス学級分布表の読み方

6. 支援策の考え方と作り方

7. 事例検討（理解の確認）

8. おわりに

アセス

6領域学校適応感尺度発

Adaptation Scale for School Environments on Six Spheres

「アセスの使い方・活かし方」(ほんの森出版)

栗原慎二・井上 弥編著

アセス(ASSASS)の特徴(1)

- 生徒の「学校適応感」を把握するアセスメント・ツール

※**学校適応感**とは

→ 学校適応しているか否かに対する 生徒自身の認識 (主観)

(参考)

学校適応とは

→ 学校生活に生徒個人が適応しているか否かの現実 (客観)

※教師からみると「学校に適応」している生徒であっても、
子ども自身が「適応していると感じている」とは限らない

→ その認識のギャップ自体も大切な生徒情報とである

アセス(ASSASS)の特徴(2)

- 学校適応感を多面的にとらえることができる
 - *家庭の状況も、ある程度推測できる
 - 多面的な情報から、適切なアセスメントを行うことができる
- 小学生(小3)から高校生までを対象にできる
 - 小・中・高校が連携して取り組んで継続的なデータを収集可能
- 学校全体で使用が可
 - アンケートの実施や分析にかかる負担の軽減
 - 個人、学級、学校の状態をタイムリーに把握
- 書籍版はExcelを使って分析可能・・・気になる個人を対象に実施可能

アセス(ASSESS)の特徴(3)

- 適応感の低い子どもの把握がしやすい
 - 偏差値40以下は“SOSサイン”の発信であり、要支援
 - 偏差値41～49以下であれば要観察
 - 偏差値50以上であれば良好

- 年間契約により年3回の測定が可能
 - 子ども回答を即時確認可能
 - 子どもの変化、取組の成果の確認が容易

- 生徒個人, 学級・学年・学校全体の学校適応感の状態の測定が可能

Q アセス(ASSESS)を実施する適切な時期は？

「何のために実施するか」という目的から考えると

- 学校として、全校生徒への支援策の探索のためなら
長期休業前に全生徒を“良い状態”にしておくことが重要

(その1か月以上前に状態を把握し、必要な支援に取り組むために)

「夏休み前」の支援には = 6月上旬に実施

「冬休み前」の支援には = 11月上旬に実施

「春休み前」の支援には = 2月上旬に実施

- 特定生徒の実態把握のためなら・・・必要と思ったとき(Excel版)

以下には、1から34の文があります。その文を読んで、あてはまる選択肢をクリックしてください。



アセスのアンケート質問数は34問
(タブレットで入力)

1	あいさつは、みんなにしている	<input checked="" type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
2	の先生は、私のことをわかってくれている	<input checked="" type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
3	なんとなく気持ちが落ち着かないことがある	<input type="radio"/> あてはまる	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
4	勉強のやり方がよくわからない	<input type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
5	まあまあ、自分に満足している	<input type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input checked="" type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
6	打ち込んでいる友だちがいたら、その人を元気づける自信がある	<input type="radio"/> あてはまる	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
7	嫌なことがあったとき、友だちは慰めたり励ましたりしてくれる	<input type="radio"/> あてはまる	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
8	仲間に入ってもらえないことがある	<input type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
9	難しい問題でも、どのような答えになるかねばり強く考える	<input checked="" type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
10	の先生は、私のことを気にしてくれている	<input type="radio"/> あてはまる	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
11	自分は、勉強はまあまあできると思う	<input type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
12	気持ちがすっきりとしている	<input type="radio"/> あてはまる	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
31	生活がすごく楽しいと感じる	<input checked="" type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
32	友だちにはなかなか本当の気持ちをうちあげられない	<input type="radio"/> あてはまる	<input checked="" type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
33	相手の気持ちになって考えたり行動する	<input checked="" type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない
34	の先生は私のいいところを認めてくれている	<input checked="" type="radio"/> あてはまる	<input type="radio"/> ややあてはまる	<input type="radio"/> どちらでもない	<input type="radio"/> ややあてはまらない	<input type="radio"/> あてはまらない

アンケートを完了する

生活満足感

気持ちがすっきりとしている
 まあまあ、自分に満足している
 気持ちが楽である
 自分はこのびのびと生きていると感じる
 生活がすごく楽しいと感じる

向社会的スキル因子

あいさつはみんなにしている
 落ち込んでいる友だちがいたら、その人
 を元気づける自信がある
 困っている人がいたら、進んで助けようと思う
 友だちや先生にあったら、自分からあいさつを
 している
 相手の気持ちになって考えたり行動する

教師サポート因子

担任の先生はわたしのことをわかっている
 担任の先生は、私のことを気にしてくれている
 担任の先生は信頼できる
 担任の先生は困ったときに助けてくれる
 担任の先生は私のいいところを認めてくれている

侵害的關係因子

友だちにからかわれたり、バカにされることがある
 陰口を言われているような気がする
 仲間に入れてもらえないことがある
 友だちにいやなことをされることがある
 友だちから無視されることがある

友人サポート因子

いやなことがあったとき、友だちは慰めたり
 励ましたりしてくれる
 「いいね」「すごいね」と言ってくれる友だちがいる
 悩みを話せる友だちがいる
 友だちは、わたしのことをわかってくれる
 元気がないとき、友だちはすぐ気づいて声をかけてくれる

学習適応感因子

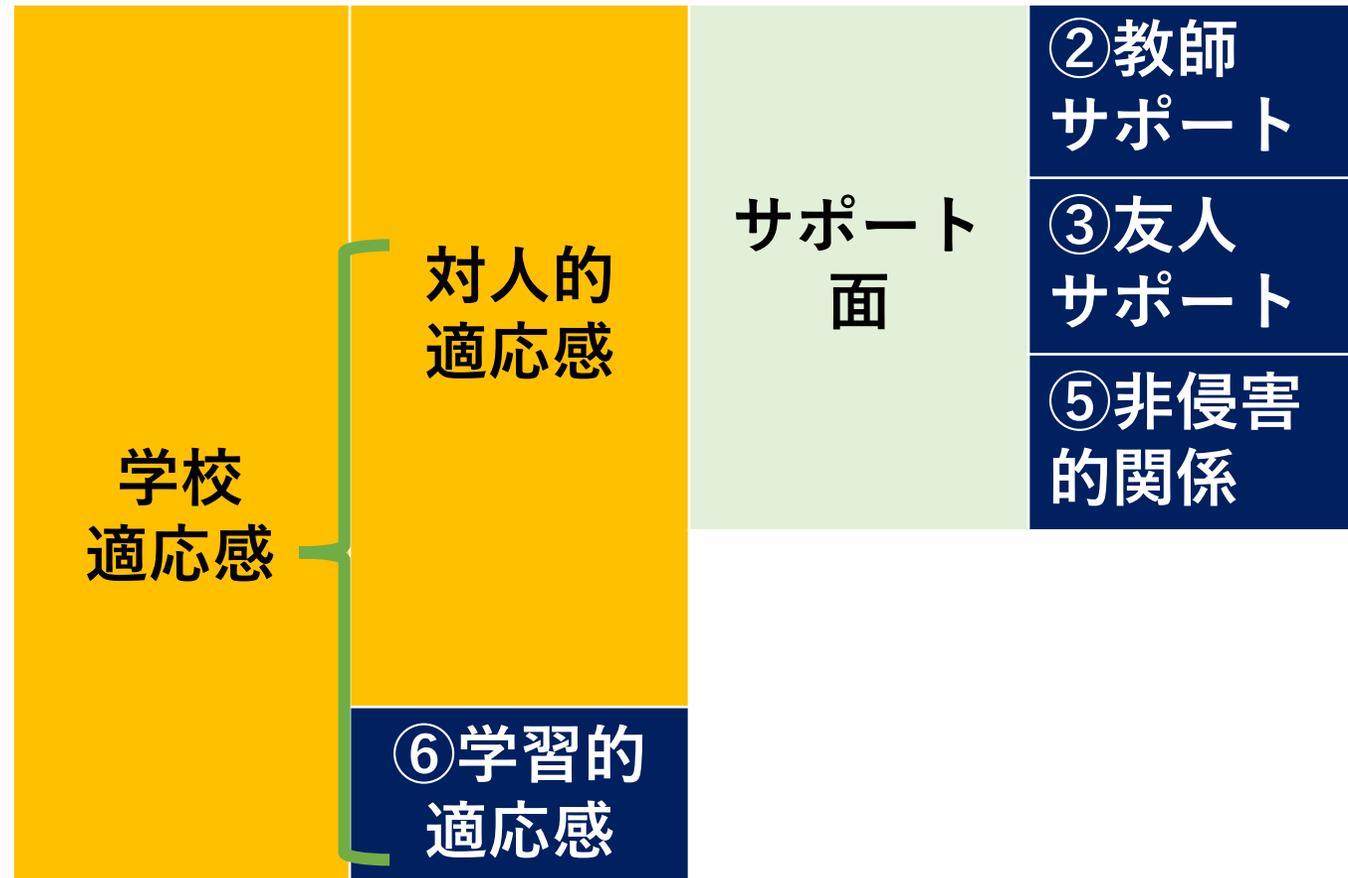
勉強のやり方がよくわからない
 勉強の問題が難しいとすぐにあきらめてしまう
 授業がよくわからないことが多い
 勉強について行けないのではないかと不安になる
 自分は勉強はまあまあできると思う

学校適応感の構造

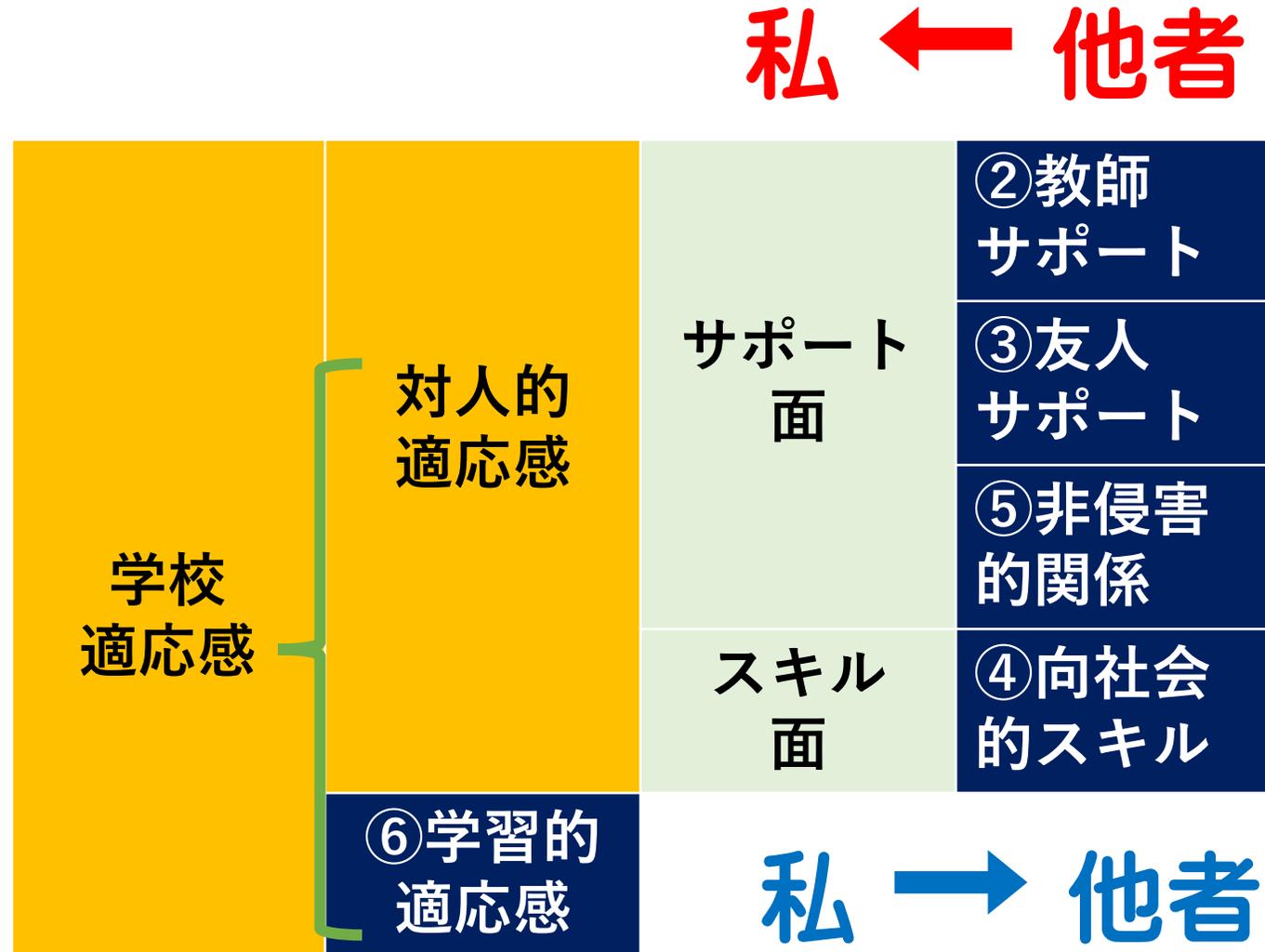


学校適応感の構造

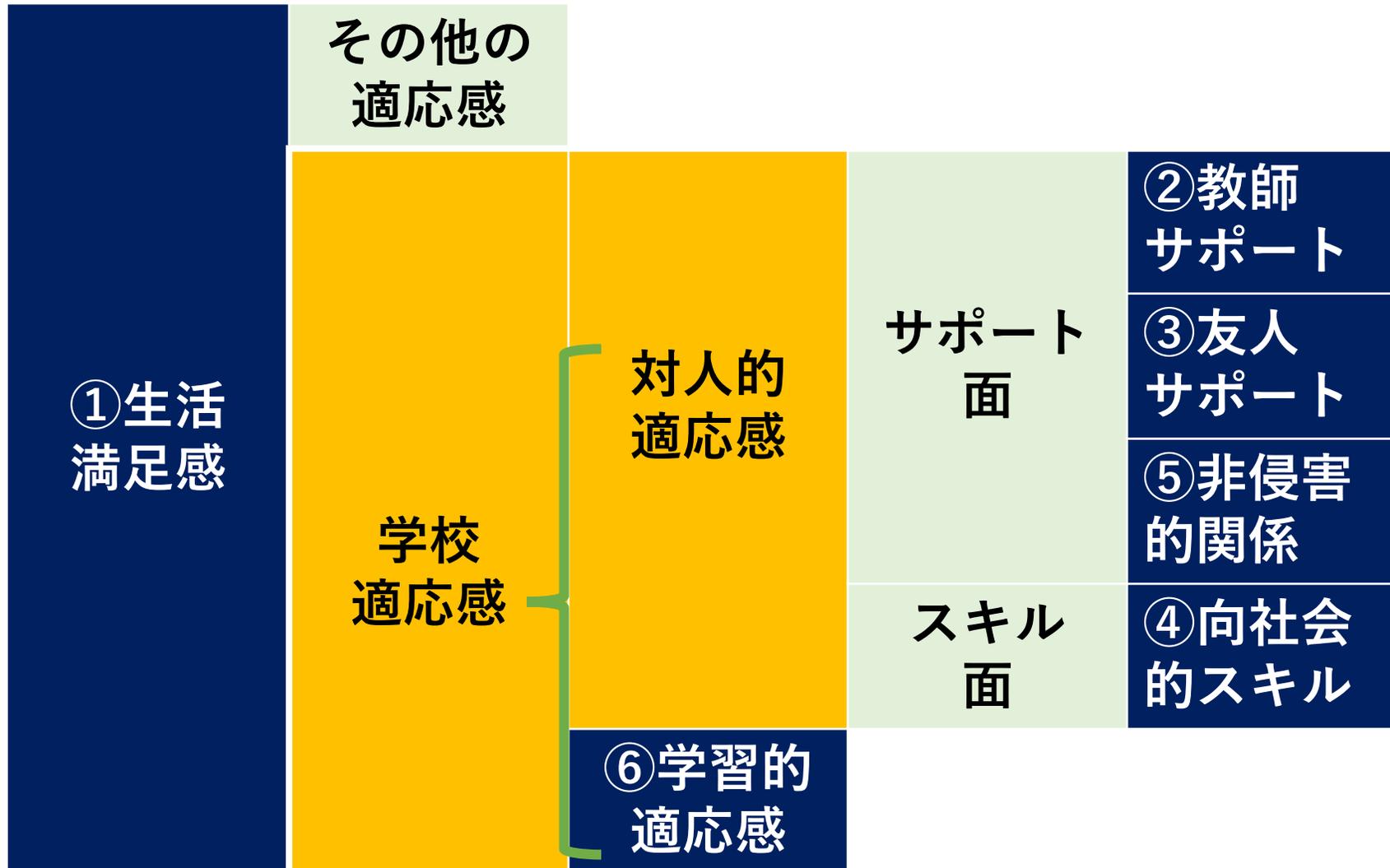
私 ← 他者



学校適応感の構造



学校適応感の構造





マイページ

登録生徒一覧

動画チュートリアル

アセスアンケート実施チュートリアル (生徒用)

アセスアンケート管理者ページチュートリアル (学校用)

アセス解説動画

アセス解説動画 (全体編)

アセス解説動画 (学級編)

アセス解説動画 (個人編)

← 今回の研修資料はこの内容を主に利用し作成したものです
(この動画を視聴し、理解を深めてください。)

アセス



No.	学校名 (アンケート名)	集計ID	年度	詳細	完了率	申込数	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
1	テスト学校1 (test)	3	—	表示	12%	50	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
2	テスト学校2 (ssss)	4	—	表示	6%	50	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
3	東京キャンパス (東京)	296	—	表示	95%	438	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0
4	デモ高校 (テストアンケート)	297	—	表示	81.2%	149	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
5	テストアンケート	326	—	表示	6%	50	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
6	テストアンケート	327	—	表示	30%	100	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
7	テストアンケート	329	—	表示	27%	100	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

お問い合わせ

学校名

氏名

デモ高校（テストアンケート）



2年1組（18名）

2年2組（19名）

2年3組（27名）

2年4組（27名）

2年5組（13名）

2年6組（17名）

アンケートID	297
アンケート名	<input type="text" value="テストアンケート"/> <input type="button" value="設定"/>
アンケート期間	~2024年3月31日
完了率	121/149名（81%）

アンケート期間	~2024年
完了率	121/149%



2年1組 (18名)

学級平均票
学級内分布票
学級間分布票
クラス一覧票
学級診断シート
学年・クラス・出席番号修正
印刷する

No.	反映	出席番号	回答日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1	<input checked="" type="checkbox"/>	1 個人特性表	2024年1月22日	1	5	3	3	1	1	3	1	1	5	1	5	1	1	1	5	1	5	1	1	3	5	1	1	1	5	5	1	3	2	3	1	1	3
36	<input checked="" type="checkbox"/>	2 個人特性表	2024年1月18日	5	5	1	1	5	1	1	1	5	5	1	4	1	5	1	1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	5	1	5	1	1	5
71	<input checked="" type="checkbox"/>	3 個人特性表	2024年1月15日	4	4	4	2	4	5	4	3	5	4	1	3	3	4	1	4	4	4	2	5	4	4	3	4	5	4	4	2	5	1	3	3	4	4
106	<input checked="" type="checkbox"/>	5 個人特性表	2024年1月15日	3	3	3	1	2	2	5	3	2	3	1	3	3	5	1	5	3	3	3	5	1	5	3	5	2	3	3	1	5	1	3	1	3	3
141	<input checked="" type="checkbox"/>	6 個人特性表	2024年1月16日	3	3	5	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
176	<input checked="" type="checkbox"/>	8 個人特性表	2024年1月17日	2	4	3	1	3	3	3	3	2	4	2	3	3	3	2	3	3	4	3	4	2	4	2	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4
211	<input checked="" type="checkbox"/>	10 個人特性表	2024年1月16日	5	5	4	2	5	5	4	1	4	5	2	4	1	4	3	4	5	5	3	4	2	5	1	4	5	5	1	1	4	2	5	2	5	5
246	<input checked="" type="checkbox"/>	12 個人特性表	2024年1月16日	2	4	3	4	4	3	3	3	4	4	4	4	3	3	4	4	3	4	3	3	4	4	3	3	2	4	2	3	3	4	4	3	2	4
281	<input checked="" type="checkbox"/>	13 個人特性表	2024年1月15日	4	5	2	1	3	2	5	1	1	5	3	4	1	5	4	5	4	5	1	5	4	5	1	5	4	4	5	1	5	2	4	1	5	5
316	<input checked="" type="checkbox"/>	15 個人特性表	2024年1月15日	3	4	3	3	4	4	4	1	4	4	2	3	1	3	2	3	4	3	1	3	2	5	1	3	5	5	3	1	3	4	5	3	4	4
351	<input checked="" type="checkbox"/>	16 個人特性表	2024年1月22日	4	3	5	2	4	1	1	3	2	4	1	1	3	1	4	1	1	4	3	1	1	5	5	1	5	3	5	3	1	1	3	5	3	3
386	<input checked="" type="checkbox"/>	17 個人特性表	2024年1月15日	4	5	2	4	4	5	5	1	5	3	3	4	1	4	4	4	5	5	1	5	5	4	1	5	5	5	2	1	5	3	4	3	5	5
421	<input checked="" type="checkbox"/>	18 個人特性表	2024年1月15日	5	4	5	1	2	5	5	1	4	4	2	2	1	5	4	1	5	4	1	5	2	4	1	5	5	4	1	1	5	1	2	1	5	5
456	<input checked="" type="checkbox"/>	19 個人特性表	2024年1月15日	3	3	2	1	3	3	3	2	2	4	1	4	1	2	2	5	3	4	1	4	3	4	1	1	3	4	3	1	3	2	4	3	4	3
491	<input checked="" type="checkbox"/>	22 個人特性表	2024年1月15日	4	3	2	2	4	4	4	2	2	3	2	4	1	4	2	4	4	4	1	3	3	4	1	4	4	4	3	1	3	2	4	3	4	4
526	<input checked="" type="checkbox"/>	25 個人特性表	2024年1月15日	4	4	4	1	3	4	4	2	2	4	4	3	1	5	2	4	4	5	1	5	4	4	1	4	4	4	3	1	5	2	4	2	5	5
561	<input checked="" type="checkbox"/>	26 個人特性表	2024年1月17日	3	3	3	3	2	2	3	2	3	3	3	2	1	3	3	2	3	3	1	3	4	3	1	3	3	3	3	1	3	3	2	3	3	3
596	<input checked="" type="checkbox"/>	27 個人特性表	2024年1月17日	5	5	5	1	5	5	5	5	5	5	2	5	1	5	2	5	5	5	1	5	2	5	1	5	5	5	2	1	5	2	5	1	5	5

管理者チュートリアルVer.2

学校教育開発研究所

メモ

氏名	性別	年齢	学年	生活満足感	教師サポート	友人サポート	社会的な関係	非侵害的関係	学習的適応	对人的適応	Crit項
10	1	M	1	47	65	49	56	83	61	63	0.8
10	1	M	3	56	58	38	40	63	61	50	0.8
10	1	F	4	56	52	56	62	45	55	54	0.8
10	1	M	5	51	60	54	53	45	65	53	0.8
10	1	F	6	63	55	83	83	83	68	76	1.5
10	1	F	8	83	58	83	59	33	72	58	1.8
10	1	M	9	41	67	51	62	63	58	61	0.5
10	1	F	10	41	55	56	53	53	70	54	1.8
10	1	F	11	68	47	59	35	60	63	50	1.0
10	1	M	12	53	83	33	50	66	63	58	1.8
10	1	M	15	39	39	25	40	58	61	41	1.5
10	1	M	19	51	45	44	47	49	58	46	0.5
10	1	M	20	35	65	46	59	83	70	63	1.8
10	1	F	21	58	43	54	50	66	58	53	0.8
10	1	M	22	56	45	49	44	83	52	55	0.5
10	1	F	23	37	58	28	53	53	61	48	0.5
10	1	M	25	51	55	44	47	83	52	57	0.0
10	1	M	28	41	43	36	31	56	50	42	2.3
10	1	F	28	45	65	51	56	83	70	64	1.0
10	1	F	29	58	43	59	47	83	47	58	1.3
10	1	F	30	53	60	59	64	49	72	58	0.5
10	1	M	31	60	67	51	44	63	74	56	2.3
10	1	F	32	63	63	59	59	45	68	57	1.0
10	1	M	33	66	83	59	83	38	79	66	1.0

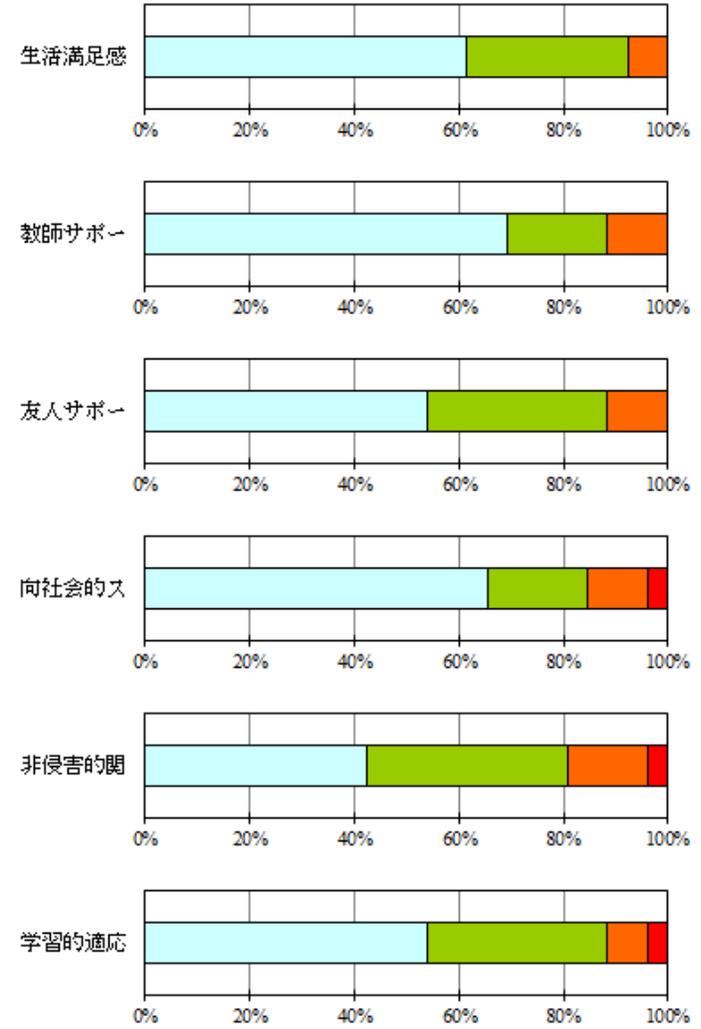
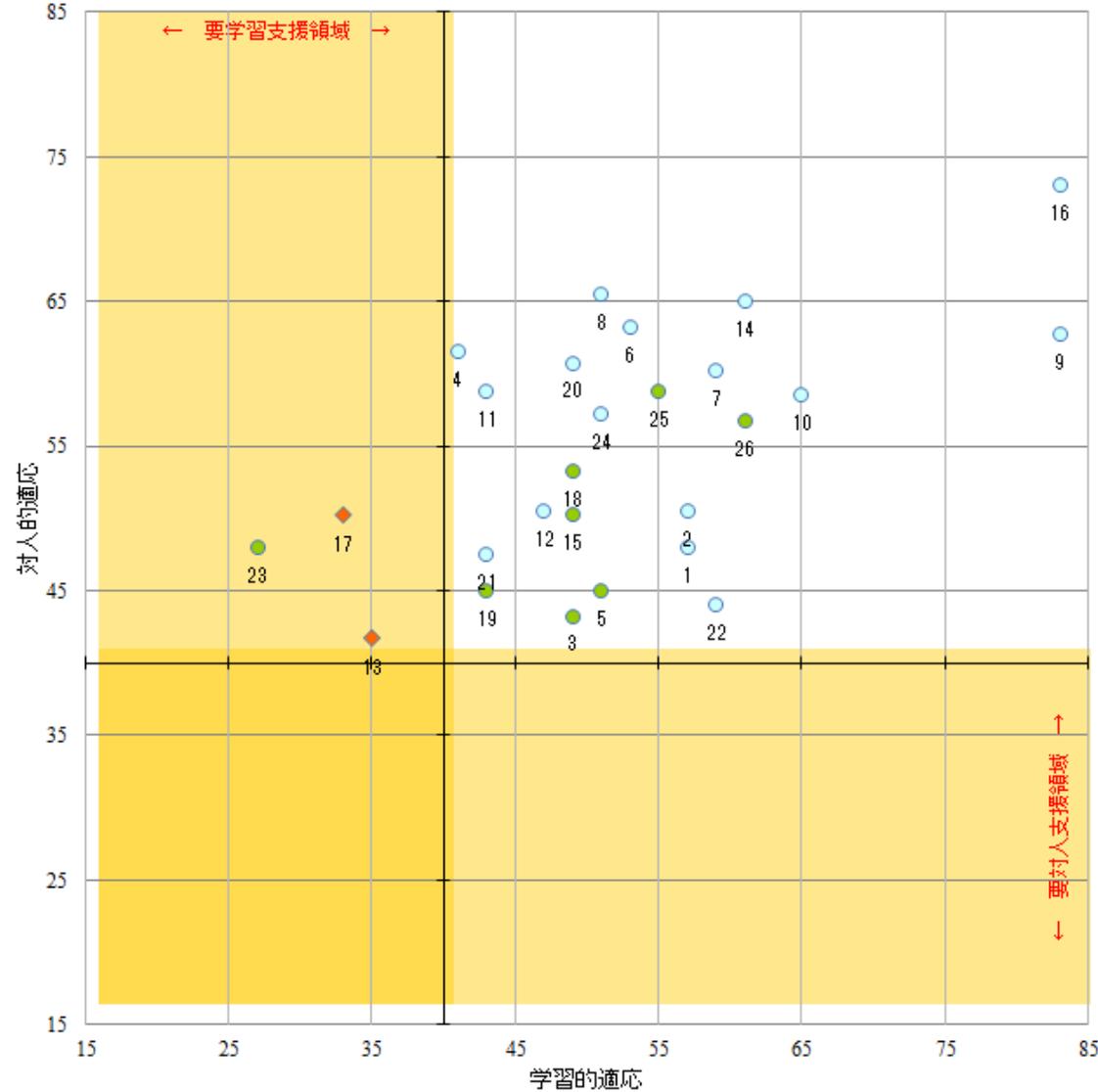
↓

アンケート期間	~2024年3月31日
完了率	121/149名 (81%)

2年1組 (18名)

学級平均票
学級内分布票
学級間分布票
クラス一覧票
学級診断シート
学年・クラス・出席番号修正
印刷する

2年1組																																					
No.	反映	出席番号	回答日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1	☑	1 個人特性表	2024年1月22日	1	5	3	3	1	1	3	1	1	5	1	5	1	1	1	5	1	5	1	1	3	5	1	1	1	5	5	1	3	2	3	1	1	3
36	☑	2 個人特性表	2024年1月18日	5	5	1	1	5	1	1	1	5	5	1	4	1	5	1	1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	5	1	5	1	1	5
71	☑	3 個人特性表	2024年1月15日	4	4	4	2	4	5	4	3	5	4	1	3	3	4	1	4	4	4	2	5	4	4	3	4	5	4	4	2	5	1	3	3	4	4
106	☑	5 個人特性表	2024年1月15日	3	3	3	1	2	2	5	3	2	3	1	3	3	5	1	5	3	3	3	5	1	5	3	5	2	3	3	1	5	1	3	1	3	3
141	☑	6 個人特性表	2024年1月16日	3	3	5	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
176	☑	8 個人特性表	2024年1月17日	2	4	3	1	3	3	3	3	2	4	2	3	3	3	2	3	3	4	3	4	2	4	2	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4
211	☑	10 個人特性表	2024年1月16日	5	5	4	2	5	5	4	1	4	5	2	4	1	4	3	4	5	5	3	4	2	5	1	4	5	5	1	1	4	2	5	2	5	5
246	☑	12 個人特性表	2024年1月16日	2	4	3	4	4	3	3	3	4	4	4	4	3	3	4	4	3	4	3	3	4	4	3	3	2	4	2	3	3	4	4	3	2	4
281	☑	13 個人特性表	2024年1月15日	4	5	2	1	3	2	5	1	1	5	3	4	1	5	4	5	4	5	1	5	4	5	1	5	4	4	5	1	5	2	4	1	5	5
316	☑	15 個人特性表	2024年1月15日	3	4	3	3	4	4	4	1	4	4	2	3	1	3	2	3	4	3	1	3	2	5	1	3	5	5	3	1	3	4	5	3	4	4
351	☑	16 個人特性表	2024年1月22日	4	3	5	2	4	1	1	3	2	4	1	1	3	1	4	1	1	4	3	1	1	5	5	1	5	3	5	3	1	1	3	5	3	3
386	☑	17 個人特性表	2024年1月15日	4	5	2	4	4	5	5	1	5	3	3	4	1	4	4	4	5	5	1	5	5	4	1	5	5	5	2	1	5	3	4	3	5	5
421	☑	18 個人特性表	2024年1月15日	5	4	5	1	2	5	5	1	4	4	2	2	1	5	4	1	5	4	1	5	2	4	1	5	5	4	1	1	5	1	2	1	5	5
456	☑	19 個人特性表	2024年1月15日	3	3	2	1	3	3	3	2	2	4	1	4	1	2	2	5	3	4	1	4	3	4	1	1	3	4	3	1	3	2	4	3	4	3
491	☑	22 個人特性表	2024年1月15日	4	3	2	2	4	4	4	2	2	3	2	4	1	4	2	4	4	4	1	3	3	4	1	4	4	4	3	1	3	2	4	3	4	4
526	☑	25 個人特性表	2024年1月15日	4	4	4	1	3	4	4	2	2	4	4	3	1	5	2	4	4	5	1	5	4	4	1	4	4	4	3	1	5	2	4	2	5	5
561	☑	26 個人特性表	2024年1月17日	3	3	3	3	2	2	3	2	3	3	3	2	1	3	3	2	3	3	1	3	4	3	1	3	3	3	3	1	3	3	2	3	3	3
596	☑	27 個人特性表	2024年1月17日	5	5	5	1	5	5	5	5	5	5	2	5	1	5	2	5	5	5	1	5	2	5	1	5	5	5	2	1	5	2	5	1	5	5



アンケート期間	～2024年3月31日
完了率	121/149名 (81%)

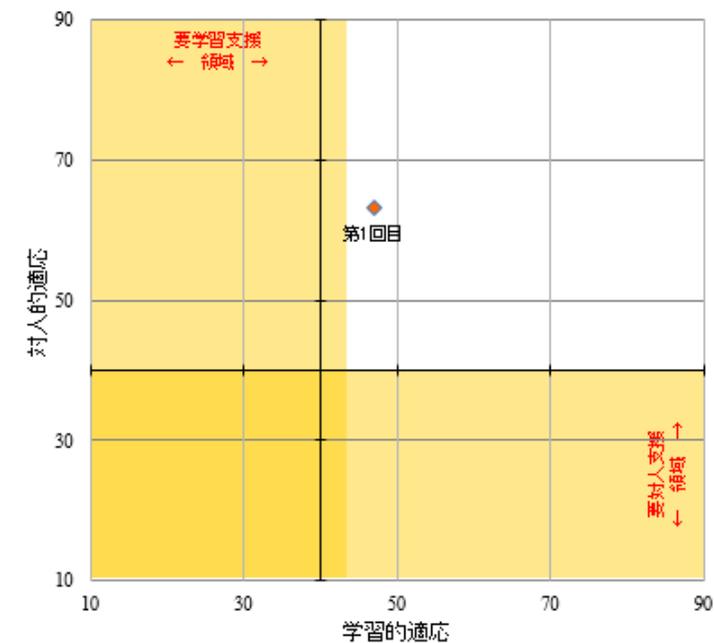
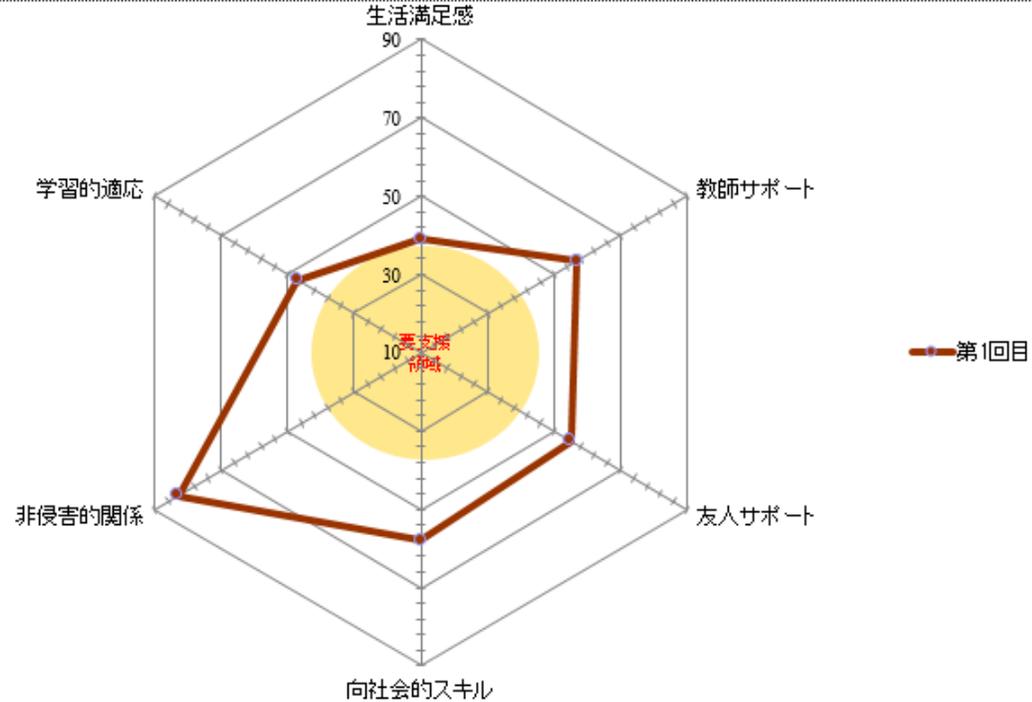
2年1組 (18名)



- [学級平均票](#)
[学級内分布票](#)
[学級間分布票](#)
[クラス一覧票](#)
[学級診断シート](#)
[学年・クラス・出席番号修正](#)
[印刷する](#)

2年1組																																						
No.	反映	出席番号	回答日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
1	☑	1 個人特性表	2024年1月22日	1	5	3	3	1	1	3	1	1	5	1	5	1	1	1	5	1	5	1	1	3	5	1	1	1	5	5	1	3	2	3	1	1	3	
36	☑	2 個人特性表	2024年1月18日	5	5	1	1	5	1	1	1	5	5	1	4	1	5	1	1	1	5	1	1	1	1	1	1	5	1	1	5	1	5	1	1	5		
71	☑	3 個人特性表	2024年1月15日	4	4	4	2	4	5	4	3	5	4	1	3	3	4	1	4	4	4	2	5	4	4	3	4	5	4	4	2	5	1	3	3	4	4	
106	☑	5 個人特性表	2024年1月15日	3	3	3	1	2	2	5	3	2	3	1	3	3	5	1	5	3	3	3	5	1	5	3	5	2	3	3	1	5	1	3	1	3	3	
141	☑	6 個人特性表	2024年1月16日	3	3	5	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
176	☑	8 個人特性表	2024年1月17日	2	4	3	1	3	3	3	3	3	2	4	2	3	3	3	2	3	3	4	3	4	2	4	2	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4
211	☑	10 個人特性表	2024年1月16日	5	5	4	2	5	5	4	1	4	5	2	4	1	4	3	4	5	5	3	4	2	5	1	4	5	5	1	1	4	2	5	2	5	5	
246	☑	12 個人特性表	2024年1月16日	2	4	3	4	4	3	3	3	4	4	4	4	3	3	4	4	3	4	3	3	4	4	3	3	2	4	2	3	3	4	4	3	2	4	
281	☑	13 個人特性表	2024年1月15日	4	5	2	1	3	2	5	1	1	5	3	4	1	5	4	5	4	5	1	5	4	5	1	5	4	4	5	1	5	2	4	1	5	5	
316	☑	15 個人特性表	2024年1月15日	3	4	3	3	4	4	4	1	4	4	2	3	1	3	2	3	4	3	1	3	2	5	1	3	5	5	3	1	3	4	5	3	4	4	
351	☑	16 個人特性表	2024年1月22日	4	3	5	2	4	1	1	3	2	4	1	1	3	1	4	1	1	4	3	1	1	5	5	1	5	3	5	3	1	1	3	5	3	3	
386	☑	17 個人特性表	2024年1月15日	4	5	2	4	4	5	5	1	5	3	3	4	1	4	4	4	5	5	1	5	5	4	1	5	5	5	2	1	5	3	4	3	5	5	
421	☑	18 個人特性表	2024年1月15日	5	4	5	1	2	5	5	1	4	4	2	2	1	5	4	1	5	4	1	5	2	4	1	5	5	4	1	1	5	1	2	1	5	5	
456	☑	19 個人特性表	2024年1月15日	3	3	2	1	3	3	3	2	2	4	1	4	1	2	2	5	3	4	1	4	3	4	1	1	3	4	3	1	3	2	4	3	4	3	
491	☑	22 個人特性表	2024年1月15日	4	3	2	2	4	4	4	2	2	3	2	4	1	4	2	4	4	4	4	1	3	3	4	1	4	4	4	3	1	3	2	4	3	4	4
526	☑	25 個人特性表	2024年1月15日	4	4	4	1	3	4	4	2	2	4	4	3	1	5	2	4	4	5	1	5	4	4	1	4	4	4	3	1	5	2	4	2	5	5	
561	☑	26 個人特性表	2024年1月17日	3	3	3	3	2	2	3	2	3	3	3	2	1	3	3	2	3	3	1	3	4	3	1	3	3	3	3	1	3	3	2	3	3	3	

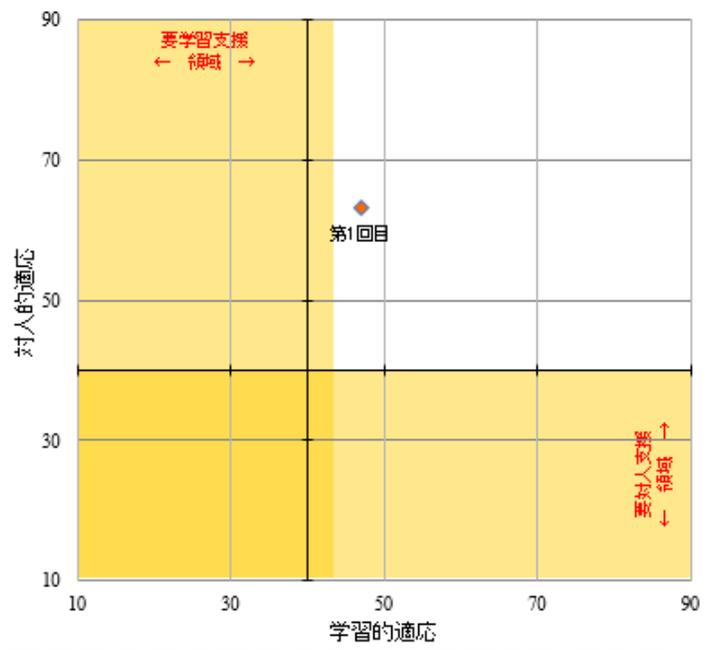
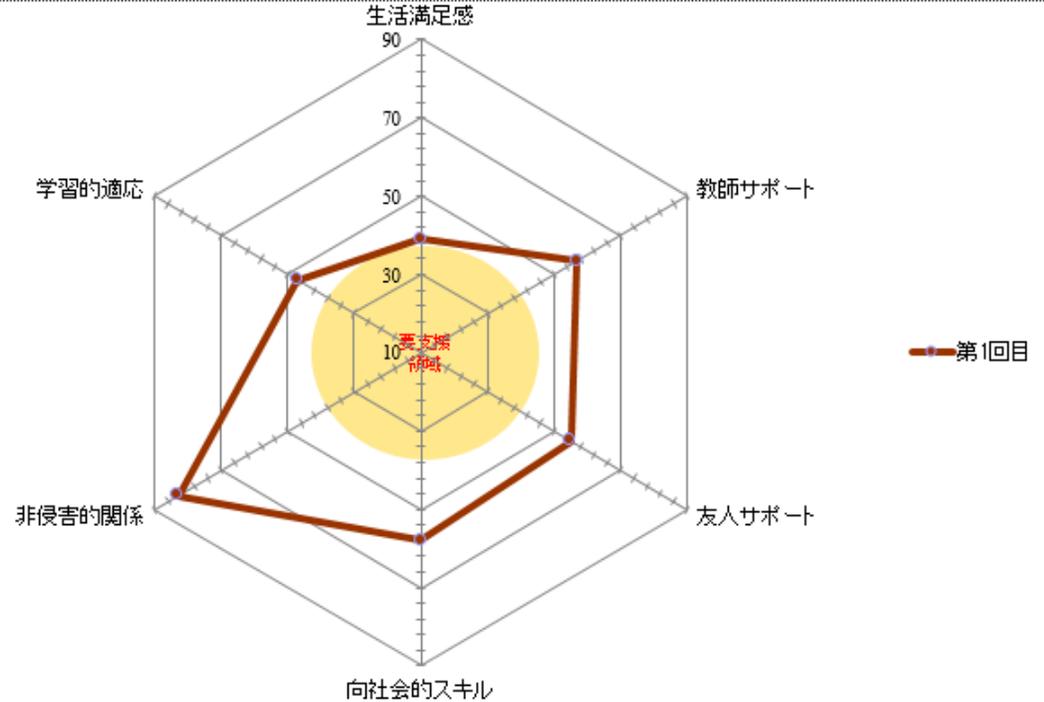
適応次元	第1回目	第2回目	第3回目	最終回のコメント	適応次元の特徴
生活満足感	39			生活全般への適応感がやや低くなっています。生活や他の適応度を確認しましょう。	生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示します。
対教師サポート	57			特になし。	担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
友人サポート	55			特になし。	友たちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
向社会的スキル	58			特になし。	友たちへの援助や友たちとの関係をつくるスキルをもっていていると感じている程度を示します。
非侵害的関係	83			特になし。	無視やいじわるなど、拒否的・否定的な友たち関係がないと感じている程度を示します。
学習的適応	47			特になし。	学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示します。



注) 得点は標準化した「適応度」で、高いほど適応的であることを示します。左のチャートは、6次元での適応を示し、カラー線が外側に広がるほど、適応しています。オレンジの領域は要支援領域 (< 40) です。右のプロットは、学習的適応と対人的適応次元での適応を示し、右上ほど適応しています。それぞれオレンジの領域は要支援領域 (< 40) です。マーカーは、生活満足感の適応度で、要支援は赤の△ (< 30) とオレンジの◇ (< 40) で、適応難は緑の○ (> 40) 赤の○ (> 50) で示してあります。グラフの読み取り方は、解説書2章、3章を参照してください。

1. これからの生徒指導の取組
2. アセスメントの重要性
3. アセスの基本
- 4. アセス個人表の読み方**
5. アセス学級分布表の読み方
6. 支援策の考え方と作り方
7. 事例検討（理解の確認）
8. おわりに

適応次元	第1回目	第2回目	第3回目	最終回のコメント	適応次元の特徴
生活満足感	39			生活全般への適応感がやや低くなっています。生活や他の適応度を確認しましょう。	生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示します。
対教師サポート	57			特になし。	担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
友人サポート	55			特になし。	友たちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
向社会的スキル	58			特になし。	友たちへの援助や友たちとの関係をつくるスキルをもっていていると感じている程度を示します。
非侵害的関係	83			特になし。	無視やいじわるなど、拒否的・否定的な友たち関係がないと感じている程度を示します。
学習的適応	47			特になし。	学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示します。



注) 得点は標準化した「適応度」で、高いほど適応的であることを示します。左のチャートは、6次元での適応を示し、カラー線が外側に広がるほど、適応しています。オレンジの領域は要支援領域 (< 40) です。右のプロットは、学習的適応と対人的適応次元での適応を示し、右上ほど適応しています。それぞれオレンジの領域は要支援領域 (< 40) です。マーカーは、生活満足感の適応度で、要支援は赤の△ (< 30) とオレンジの◇ (< 40) で、適応難は緑の○ (> 40) 赤の○ (> 50) で示してあります。グラフの読み取り方は、解説書2巻、3巻を参照してください。

個人表の基本的な読み取り方(1)

① 生徒個々の6つの適応感で40未満の要支援領域を確認する

→ 生徒からの **SOSサイン**として受け止める

② 特に「生活満足感」を確認し、数値を解釈する

→ **偏差値40以下であれば要支援**

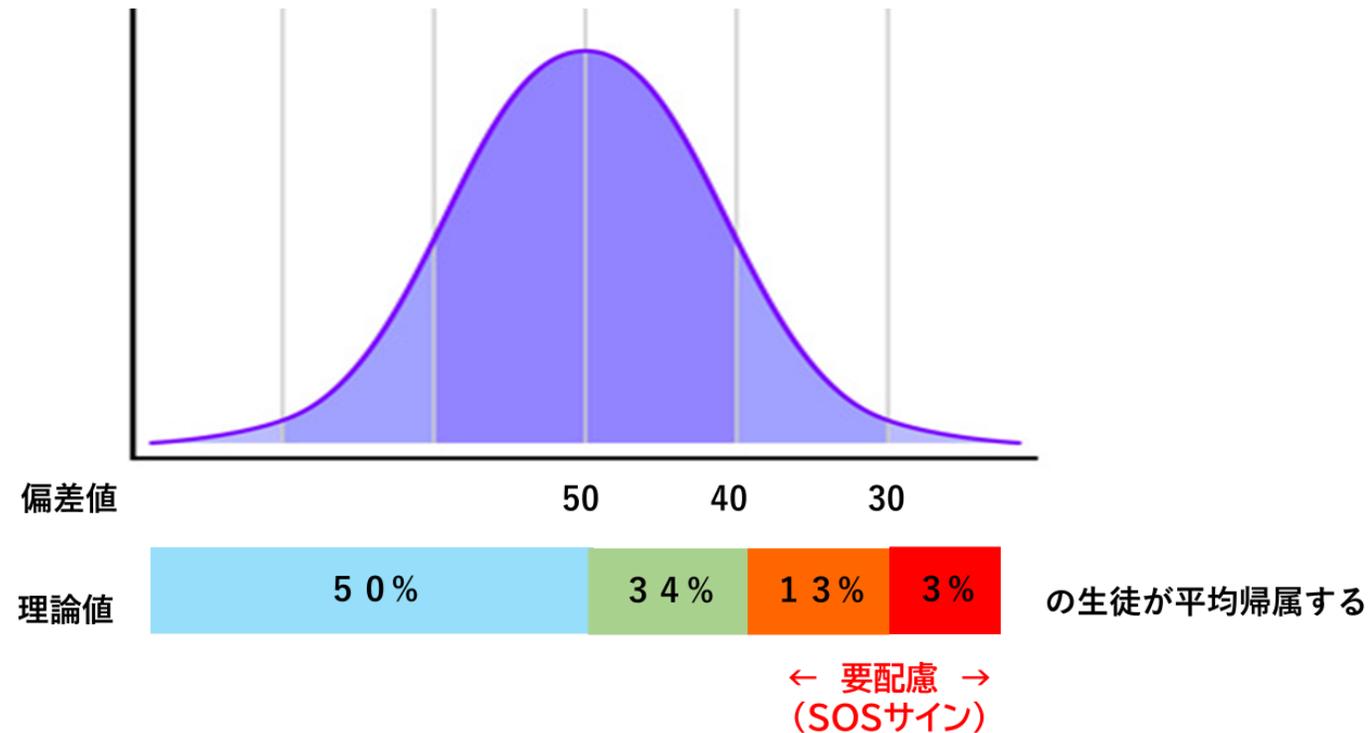
→ 偏差値50以上であれば良好

③ 実際の学校生活の様子（授業中，友人関係，部活，学習成績，自己表現活動の様子など）や家庭環境等の各種情報と照らして **“本質的な諸相への気づき”に気をつけアセスメント（見立て）**を行い，**その上で支援策を組み立てる**

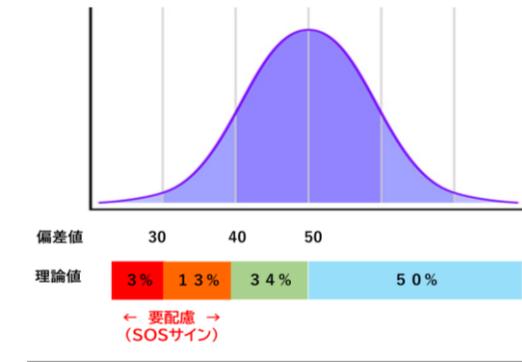
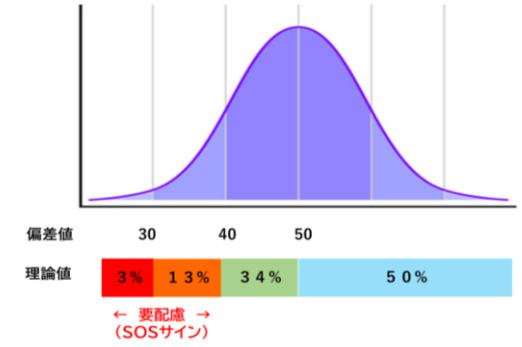
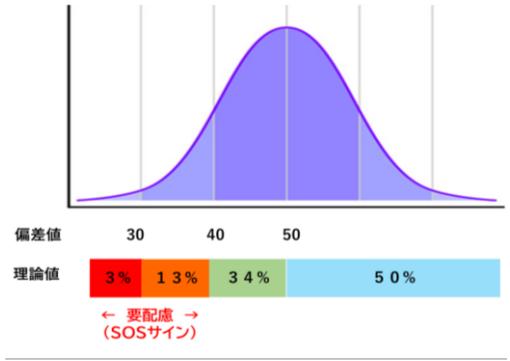
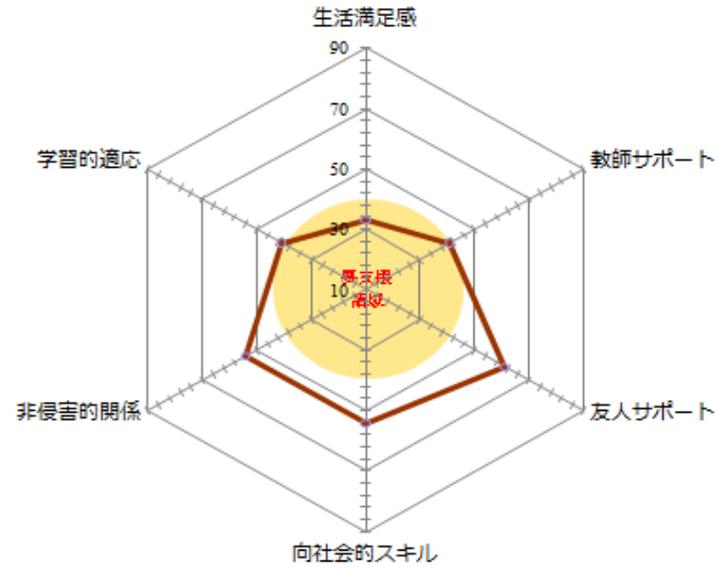
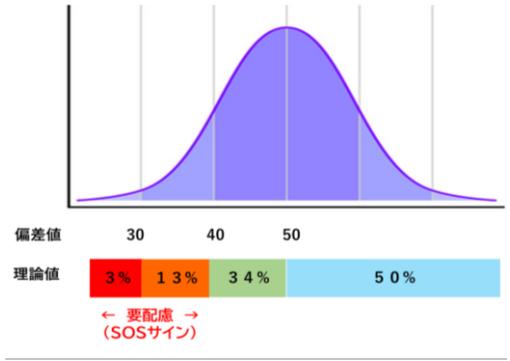
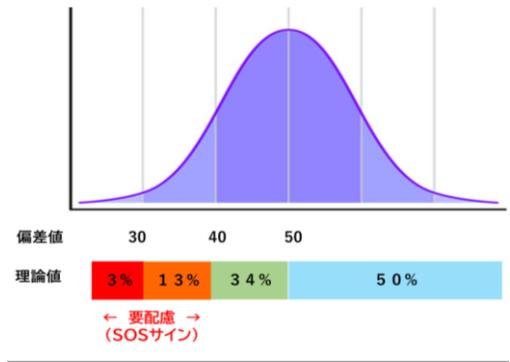
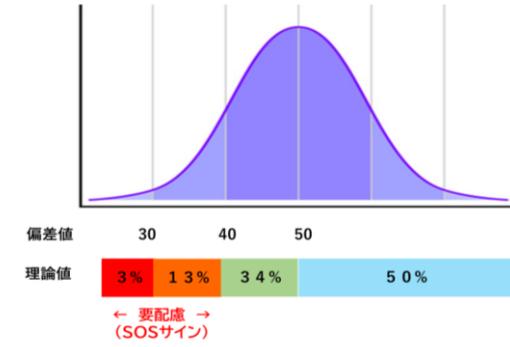
個人表の基本的な読み取り方(2)

④ 色 = 偏差値

青:50～ 緑:49～40 オレンジ:39～30 赤:29以下



⑤ 偏差値40以下は、その領域について行き詰まりSOSを発している²⁶



個人表の基本的な読み取り方(3)

⑥ 統計学上、一般的に想定される人数分布(生徒割合)

青:50% 緑:34% オレンジ:13% 赤:2.5%程度

35人中 (17~18人)

(12人)

(5人)

(1人以下)

⑦ 1因子だけ40以下でも、他の領域で行き詰ると一気に悪化する可能性がある

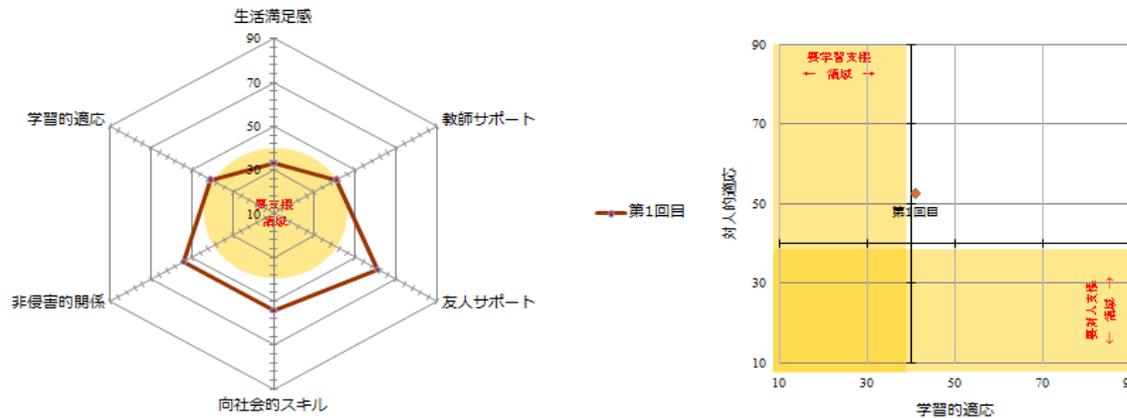
⑧ 2因子以上で40以下の因子のある生徒は、かなり厳しい状況

→ 緊急対応が必要！ 持続的な支援を組織で検討・対応すること！

個人表の基本的な読み取り方(4)

⑨ 生活満足感は全体的な不適応感を示し、1因子だけでも注意が必要

適応次元	第1回目	第2回目	第3回目	最終回のコメント	適応次元の特徴
生活満足感	33			生活全般への適応感がやや低くなっています。生活や他の適応度を確認しましょう。	生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示します。
教師サポート	41			特になし。	担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
友人サポート	61			特になし。	友だちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
向社会的スキル	54			特になし。	友だちへの援助や友だちとの関係をつくるスキルをもっていると感じている程度を示します。
非侵害的關係	54			特になし。	無視やいじわるなど、拒否的・否定的な友だち関係がないと感じている程度を示します。
学習的適応	41			特になし。	学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示します。



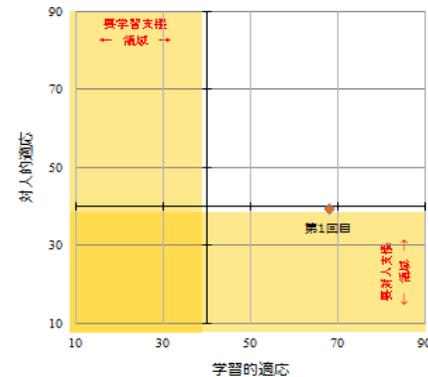
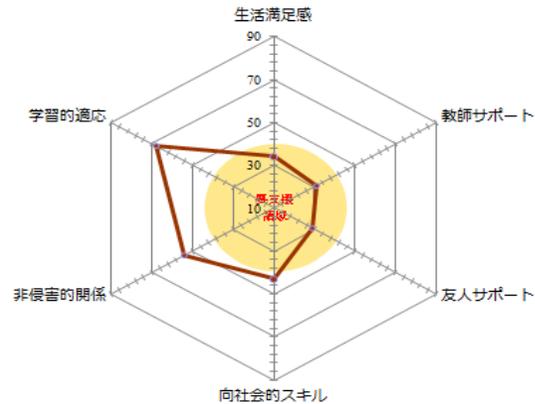
注) 得点は標準化した「適応度」で、高いほど適応であることを示します。左のチャートは、6次元での適応を示し、カラー線が外側に広がるほど、適応しています。オレンジの領域は要支援領域(<40)です。右のプロットは、学習的適応と対人的適応次元での適応を示し、右上ほど適応しています。それぞれオレンジの領域は要支援領域(<40)です。マーカーは、生活満足感の適応度で、要支援は赤の△(<30)とオレンジの◇(<40)で、適応群は緑の○(>=40)青の○(>=50)で示されています。グラフの読み取り方は、解説書2章、3章を参照してください。

個人表の基本的な読み取り方(5)

⑩ **3因子以上で40以下の因子のある生徒は、非常にピンチな状態**である。

→ **緊急対応が必要！ 持続的な支援を組織で検討・対応すること！**

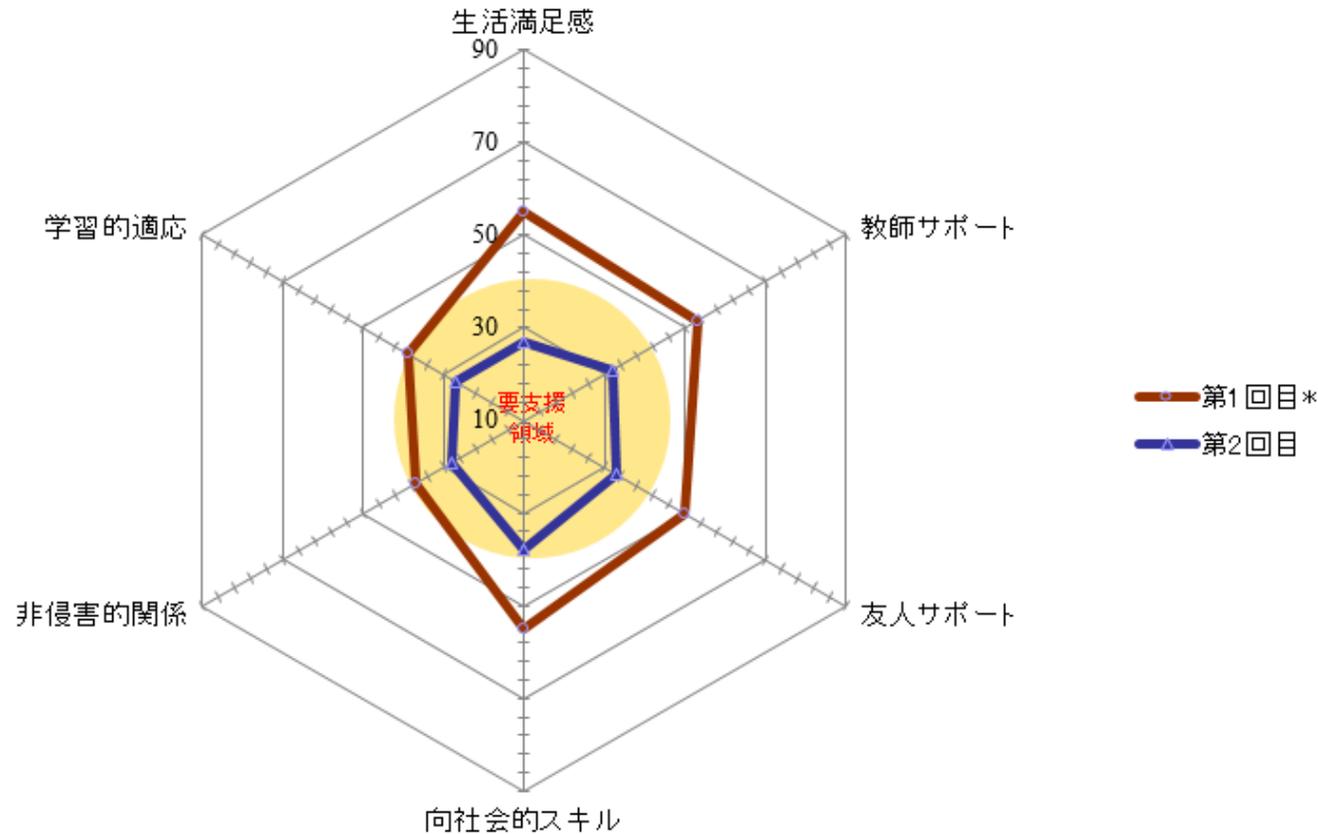
適応次元	第1回目	第2回目	第3回目	最終回のコメント	適応次元の特徴
生活満足感	34			生活全般への適応感がやや低くなっています。生活や他の適応度を確認しましょう。	生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示します。
教師サポート	31			教師からの支援感がやや低くなっています。声かけなどを通し様子を確認しましょう。	担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
友人サポート	29			友だちからの支援感がやや低くなっています。友だち関係の確認とともに、早急な支援が必要です。	友だちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
向社会的スキル	43			特になし。	友だちへの援助や友だちとの関係をつくるスキルをもっていている程度を示します。
非侵害的關係	54			特になし。	無視やいじわるなど、拒否的・否定的な友だち関係がないと感じている程度を示します。
学習的適応	68			特になし。	学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示します。



注) 得点は標準化した「適応度」で、高いほど適応的であることを示します。左のチャートは、6次元での適応を示し、カラー線が外側に広がるほど、適応しています。オレンジの領域は要支援領域(<40)です。右のプロットは、学習的適応と対人的適応次元での適応を示し、右上ほど適応しています。それぞれオレンジの領域は要支援領域(<40)です。マーカは、生活満足感の適応度で、要支援は赤の△(<30)とオレンジの○(<40)で、適応群は緑の○(≧40)青の○(>50)で示してあります。グラフの読み取り方は、解説書2巻、3巻を参照してください。

6因子(全て)が40以下に変化した生徒

この子はどんな子？ これを見つけたらどの様に動きますか？



※本当は多くの情報を組み合わせて行うが、この場合の初動はアセスのみで十分です

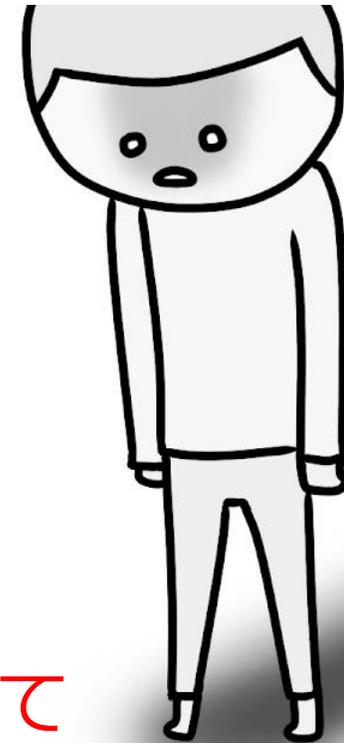
SOSサインが6因子全てで出ている生徒は 希死念慮の懸念あり

円の面積は極端に小さい場合、
心のエネルギーレベルが極端に下がっている
ことを示している。

何があったにせよ、それは一端横に置いて

絶対に自殺だけは回避させなければいけない !

我々、大人を信じてね！ 力になりたいからね！の
メッセージは絶えず出し続けたい。（ゲートキーパー）



対応の原則 TALKの原則

(1) **T e l l**

- ・ 言葉に出して、心配していることを伝える

(2) **A s k**

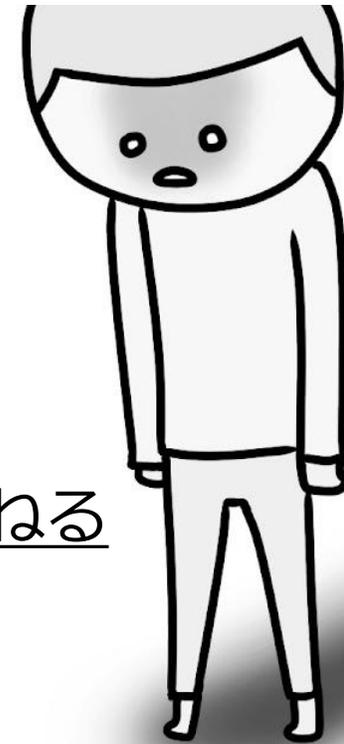
- ・ 「死にたい」という気持ちについて、率直に尋ねる

(3) **L i s t e n**

- ・ 絶望的な気持ちを傾聴する

(4) **K e e p S a f e**

- ・ 安全を確保する



個人表の基本的な読み取り方(6)

⑪ 虚偽尺度への反応 (→ 回答に一貫性がないことを示している)

虚偽尺度にチェックが入った生徒(一覧表のCrit項が2.0を超えている生徒)は、数値の低い生徒と並んで、最も対応を考慮する必要のある生徒である場合が多いので、要注意である

知っておきたいこと

Q1 これに引っかかるのはどのような生徒？

Q2 正確な検査を実施するために必要な配慮は？

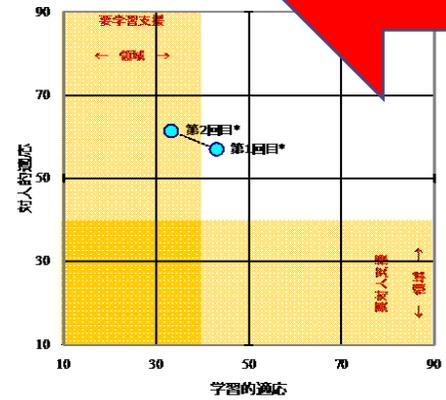
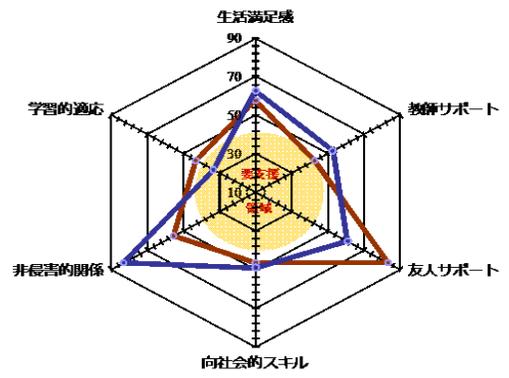
Q3 これに引っかからない生徒は？

虚偽尺度にチェックが入った生徒は、数値の低い生徒と並んで、最も対応を考慮する必要のある生徒である場合が多いので、要注意である

適応次元	第1回目*	第2回目*	第3回目*	次元の特徴
生活満足感	58	63		生活に満足や楽しさを感じている程度を示します。
教師サポート	43	53		担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
友人サポート	83	61		友だちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
向社会的スキル	47	49		友だちへの援助や友だちとの関係をつくるスキルをもっていると感じている程度を示します。
非侵害的関係	56	83		無害やいじめ、拒否的・否定的な友達関係がないと感じている程度を示します。
学習的適応	43	33		学習への適応感がやや低くなっています。学習の様子を確認しましょう。
対人的適応	57	61		



* 回答に矛盾や防衛的反応がみられ、結果が正確でない可能性があります。



虚偽尺度への反応を考える（1）

Q1. これに引っかかるのはどのような生徒？

- ・文章が理解できない
 - 漢字が読めない？ 意味を理解できない？
 - 文字が読めない(ディスレクシア)？
- ・最後まで読まないで早とちり、せっかち
ADHD？
- ・教師に本当の自分を見せたくない
教師不信？、人間不信？、何かある？！

虚偽尺度への反応を考える（2）

Q2. 正確な検査を実施するために必要な配慮は？

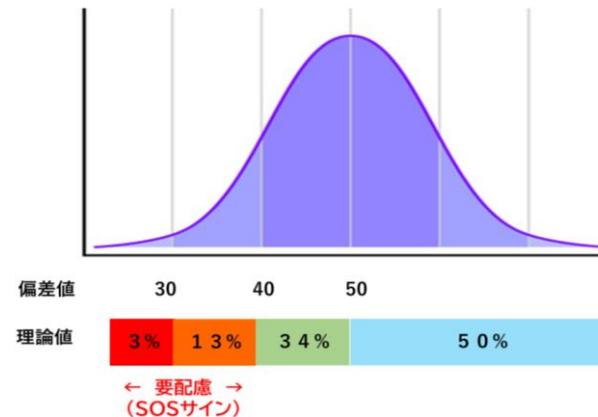
- ・回答する意味を生徒に丁寧に説明する
(例) 「これは、担任との面談を紙上で行うのと同じ意味です。そのつもりで回答して下さい。
また、その結果をみて皆さんの要望があれば、直接面談することも考えています。
また、面談を他の先生と行うことも可能です。そのため、正直にアンケートに答えて下さい。」

- ・時間を十分に取る
- ・落ち着いた時間帯や環境で行う

虚偽尺度への反応を考える (3)

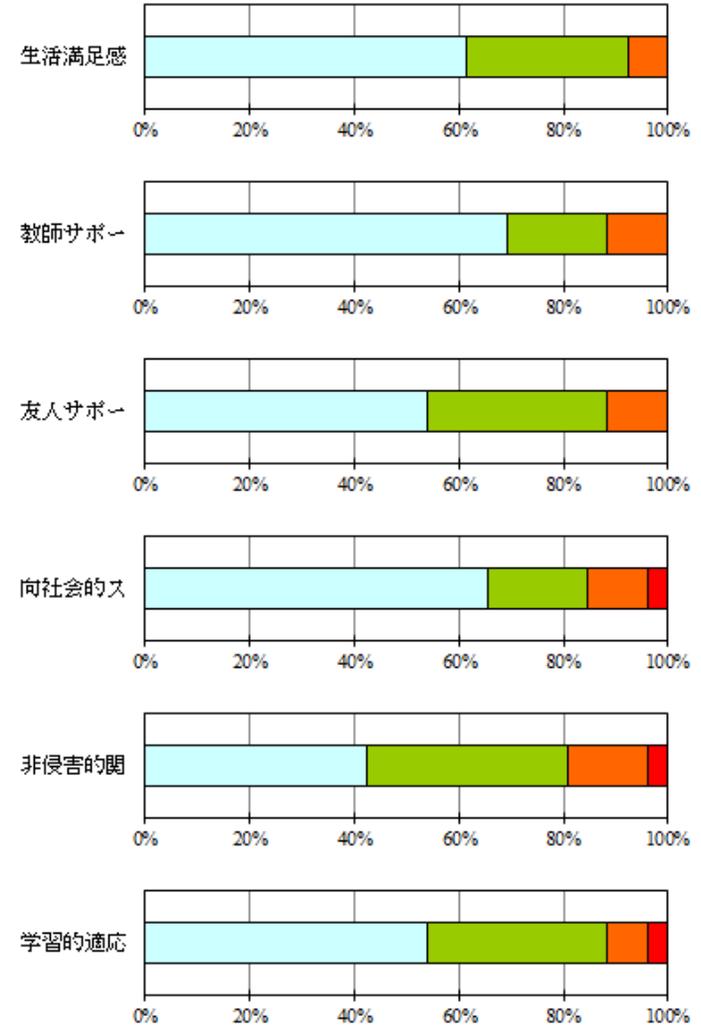
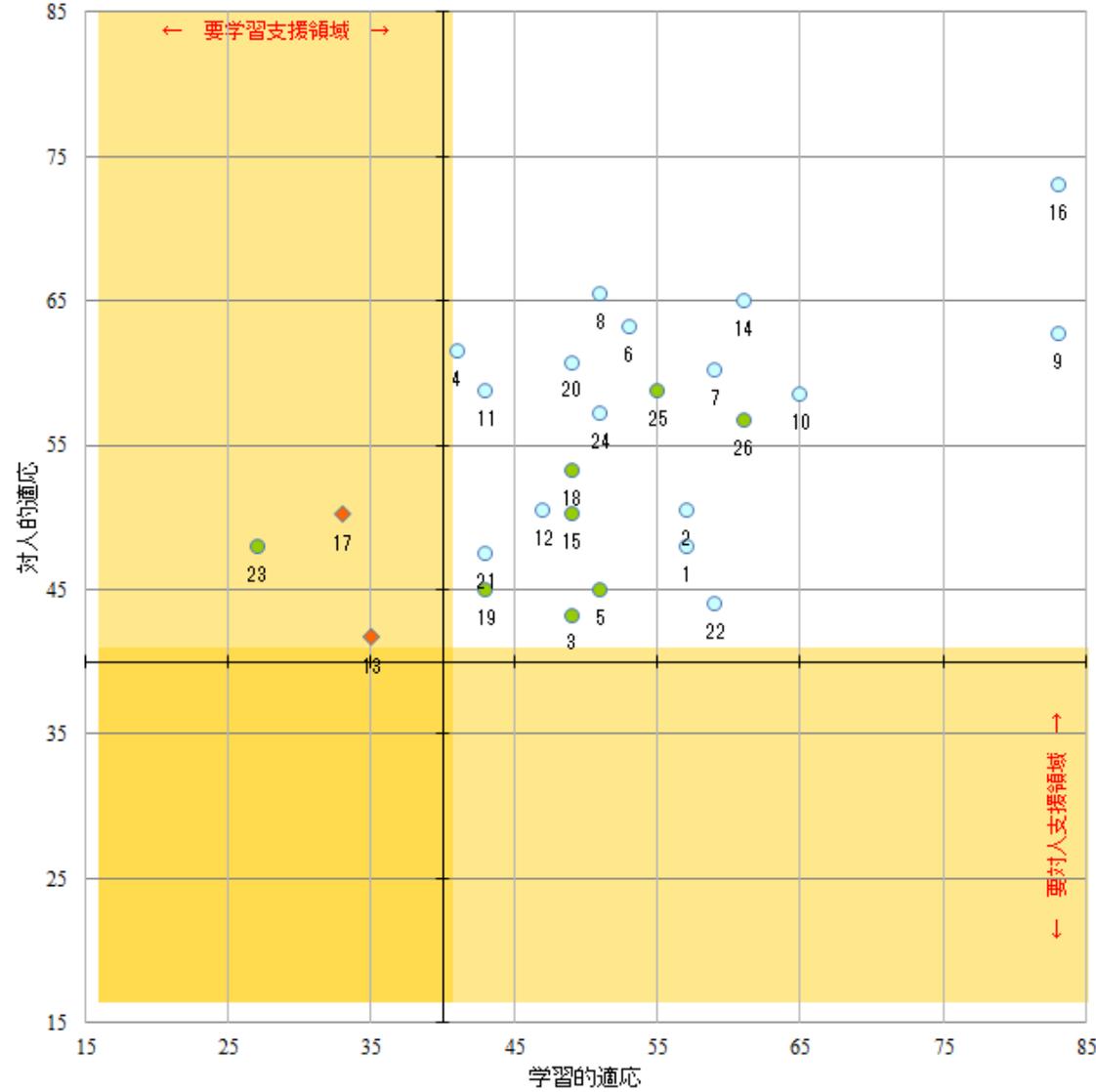
Q3. これに引っかけからない生徒は？

→ 真摯に回答している生徒です
 そこで数値が低い生徒は、教師にSOSを発しています



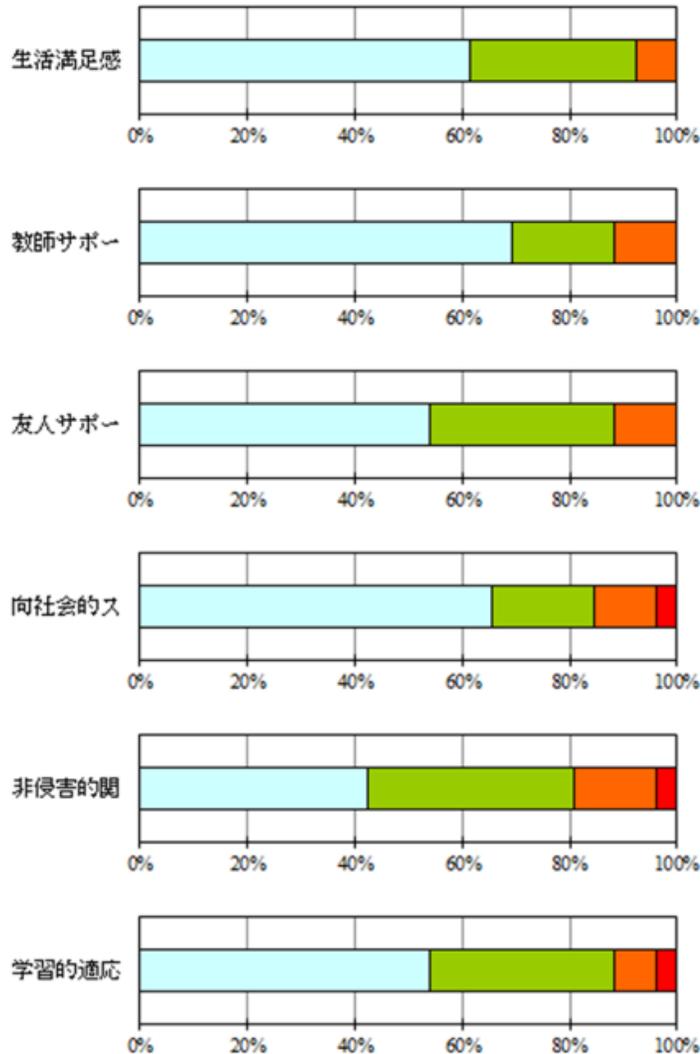
= 「様子を見る」といって何もしないことは一番怖いです
 (学校組織も生徒に真摯に向き合い、対応しましょう)

1. これからの生徒指導の取組
2. アセスメントの重要性
3. アセスの基本
4. アセス個人表の読み方
- 5. アセス学級分布表の読み方**
6. 支援策の考え方と作り方
7. 事例検討（理解の確認）
8. おわりに

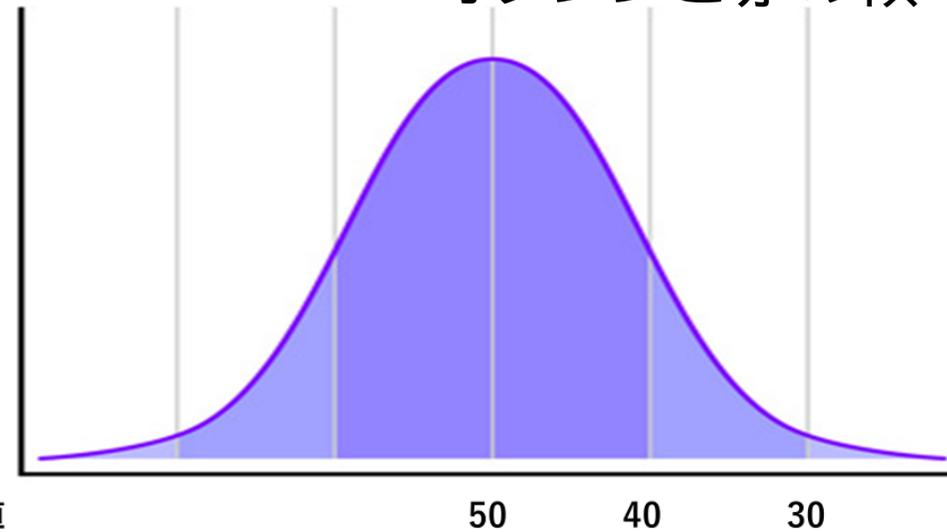


分布表(帯)の基本的な読み取り方(1)

① 平均的な適応状態を50としている



理論値では青の領域が約50%
 緑の領域が約34%
 オレンジと赤の領域が約16%



偏差値

50 40 30

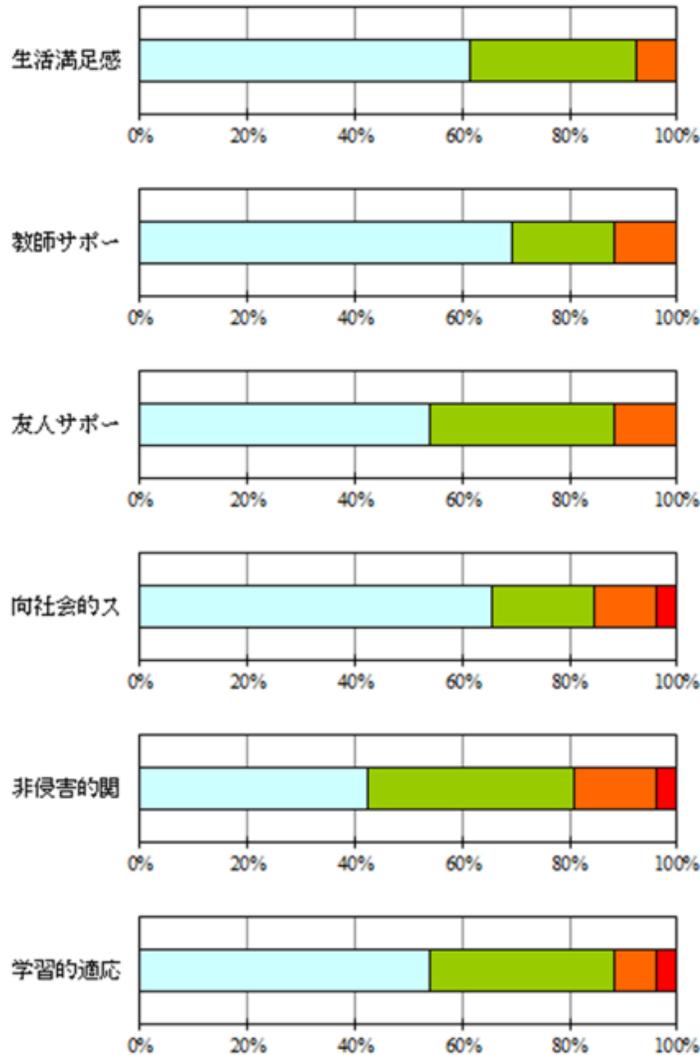
理論値



の生徒が平均帰属する

← 要配慮 →
(SOSサイン)

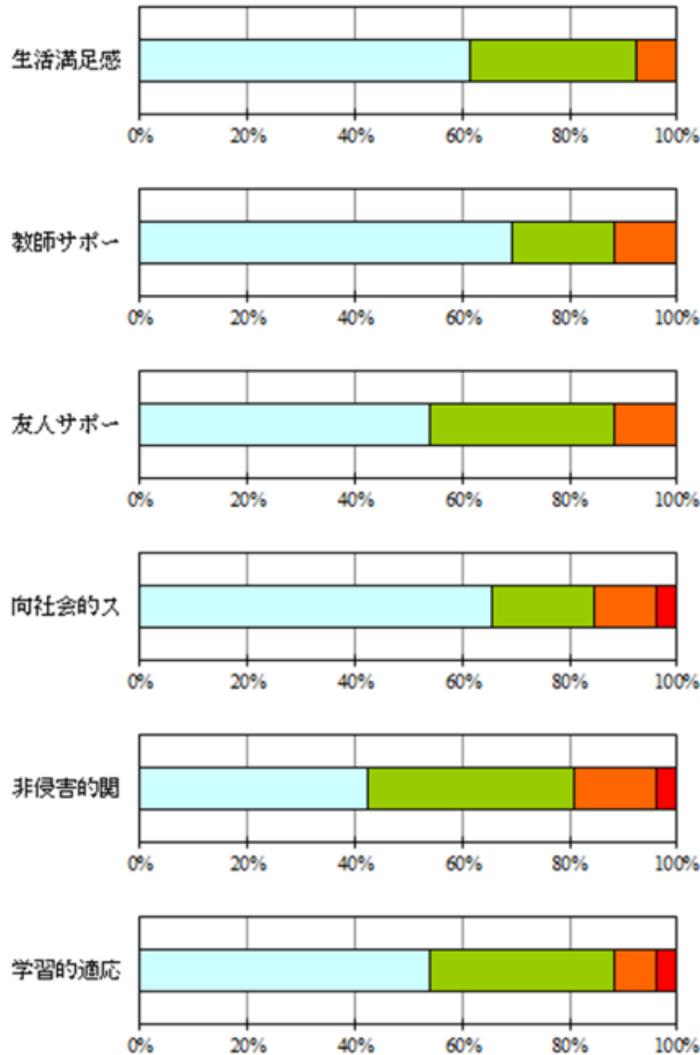
分布表(帯)の基本的な読み取り方(2)



② クラスの特徴を把握する。

- 標準は、少なめに見ても、青の割合が40%超
青と緑を合わせた割合は60%は欲しい
- 青が40%に満たない場合
……クラス全体の適応に課題あり
- 青が60%を超えている場合
……そこに、要支援と判定された生徒は
その生徒自身の適応に課題が感じ
られる
(個別支援を充実させる対象)

分布表(帯)の基本的な読み取り方(3)



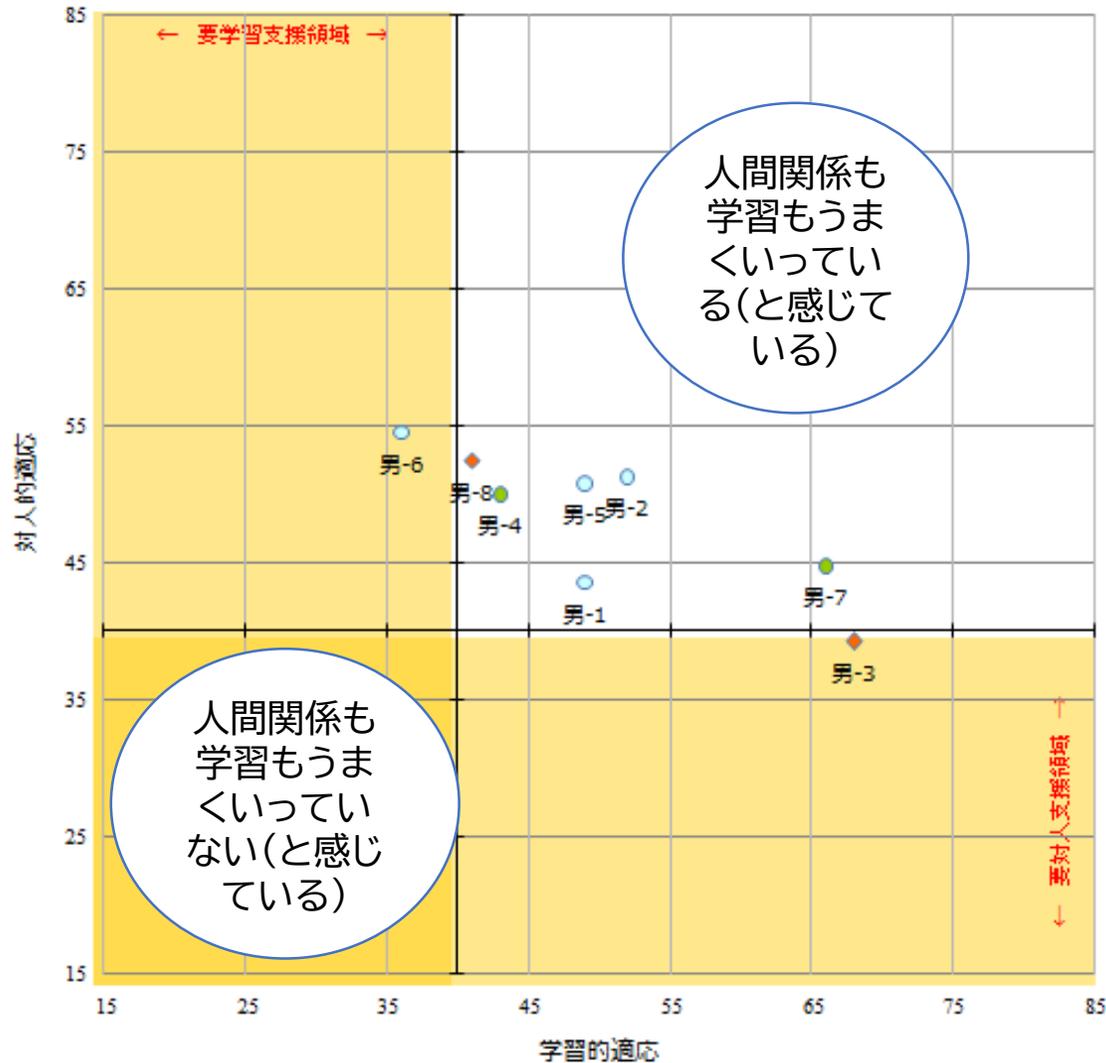
③ 6因子の関係性を関連付けて捉える

→ 実際の観察結果等と関連付けて、
因果関係を予測する

(主な視点)

- 各因子の標準的な分布との比較
- 特に課題となる因子は
- 違和感を感じるところはないか
- 赤、オレンジの生徒は誰で、何故？

分布表(図)の基本的な読み取り方(1)



① クラス全体の雰囲気をつかむ

ナナメ型 = 一般的

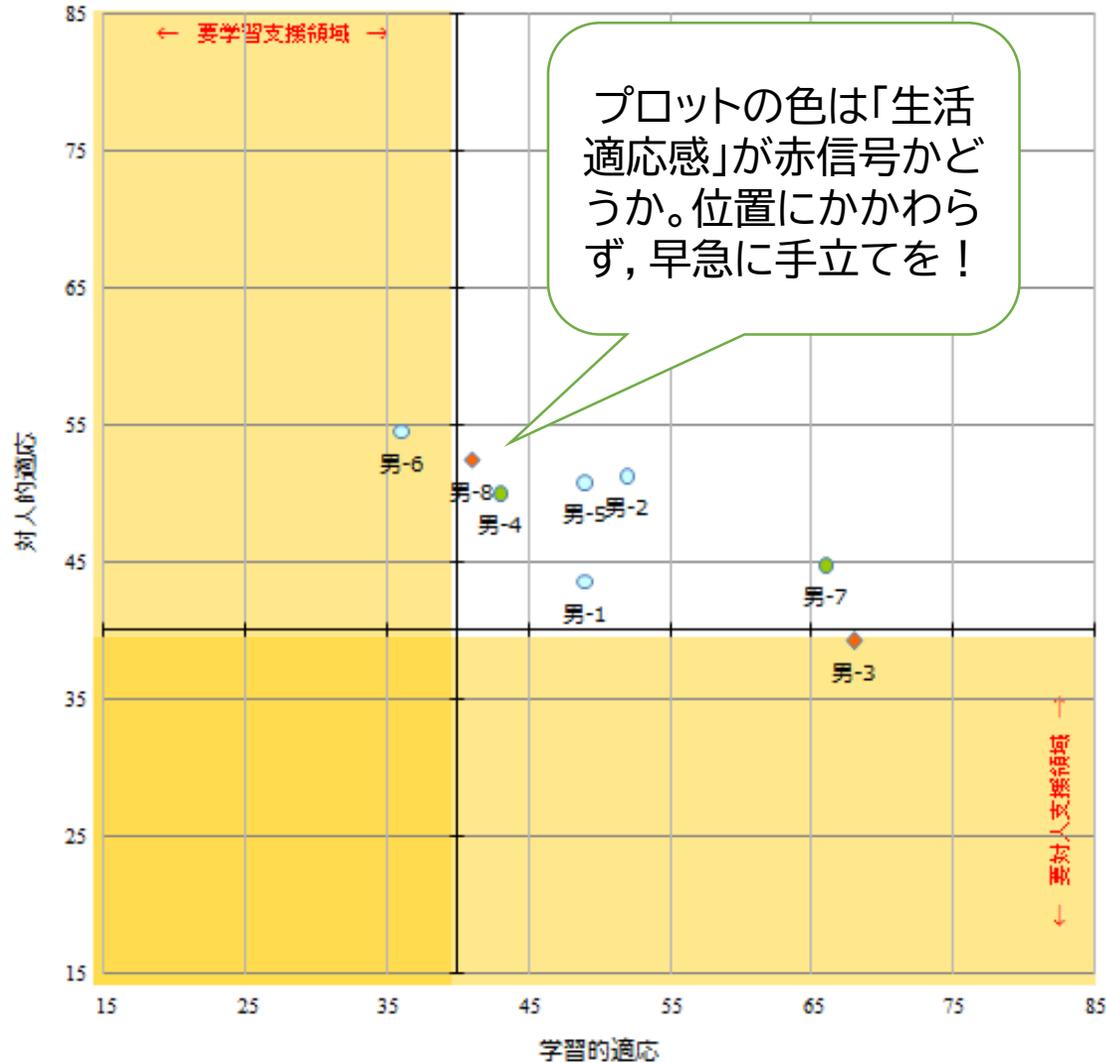
ヨコ型 = 対人関係安定

タテ型 = 対人関係不安定

② 誰が、どこに位置しているか確認

意外な生徒はいないか？

分布表(図)の基本的な読み取り方(2)



③ **生活適応感のSOSサイン**
(赤、オレンジ)がある生徒の確認

右上 = 学校外要因？
早急な手立て必要
→ SC,SSWの活用を検討

左下 = 緊急的な対応が必要

※個人票も必ず確認すること

1. これからの生徒指導の取組
2. アセスメントの重要性
3. アセスの基本
4. アセス個人表の読み方
5. アセス学級分布表の読み方
- 6. 支援策の考え方と作り方**
7. 事例検討（理解の確認）
8. おわりに

支援策の考え方(1)

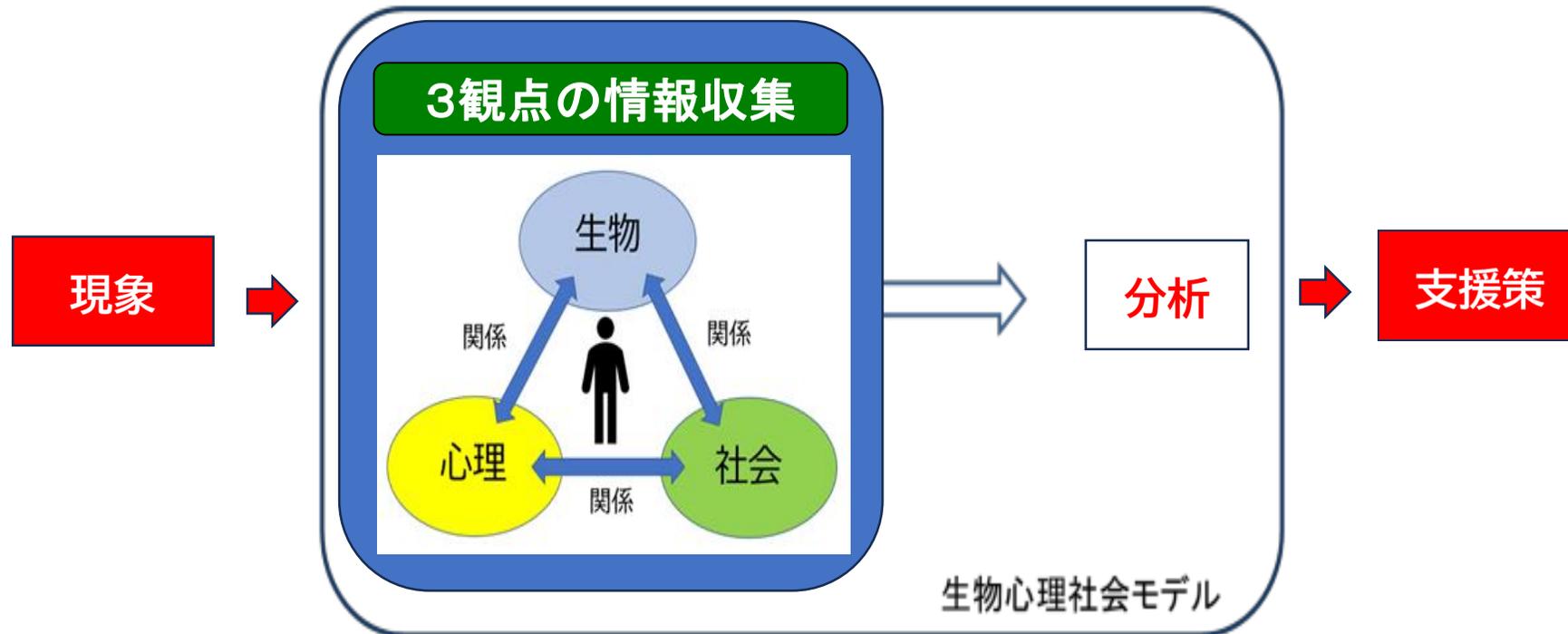
① 「何故“チーム”が必要なのか？」の視点を持つ

- “チーム医療”では、患者の命を守るため、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、社会福祉士等と、患者とその家族が目標を共有し、協力しあうことが必要
- “チーム学校”では、生徒を伸ばし輝かせるため、担任、授業担当者、分掌・委員会組織、SC、SSW等と、生徒とその家族が目標を共有し、協力しあうことが必要

支援策を作成するには「アセスメント」が必要

BPSモデル（生物・心理・社会モデル）

- ・ 個人の分析 × 集団の分析
- ・ 教育・心理・福祉・医療等からの包括的アプローチ(チーム学校の必要性)



支援策の考え方(2)

② 教師サポートにある4種類を思う存分活用する

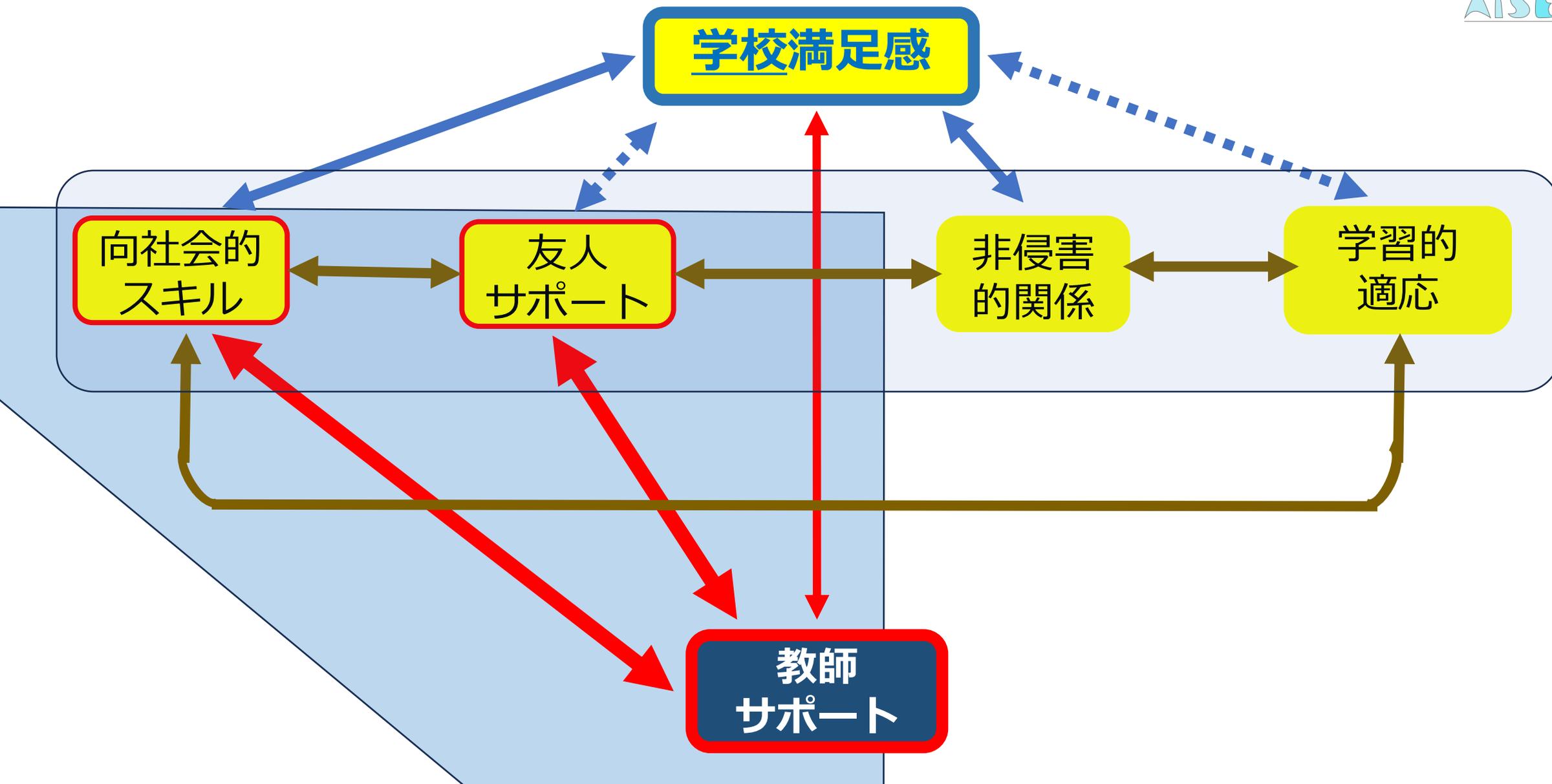
サポート

- ・情緒的
- ・道具的
- ・情報的
- ・評価的

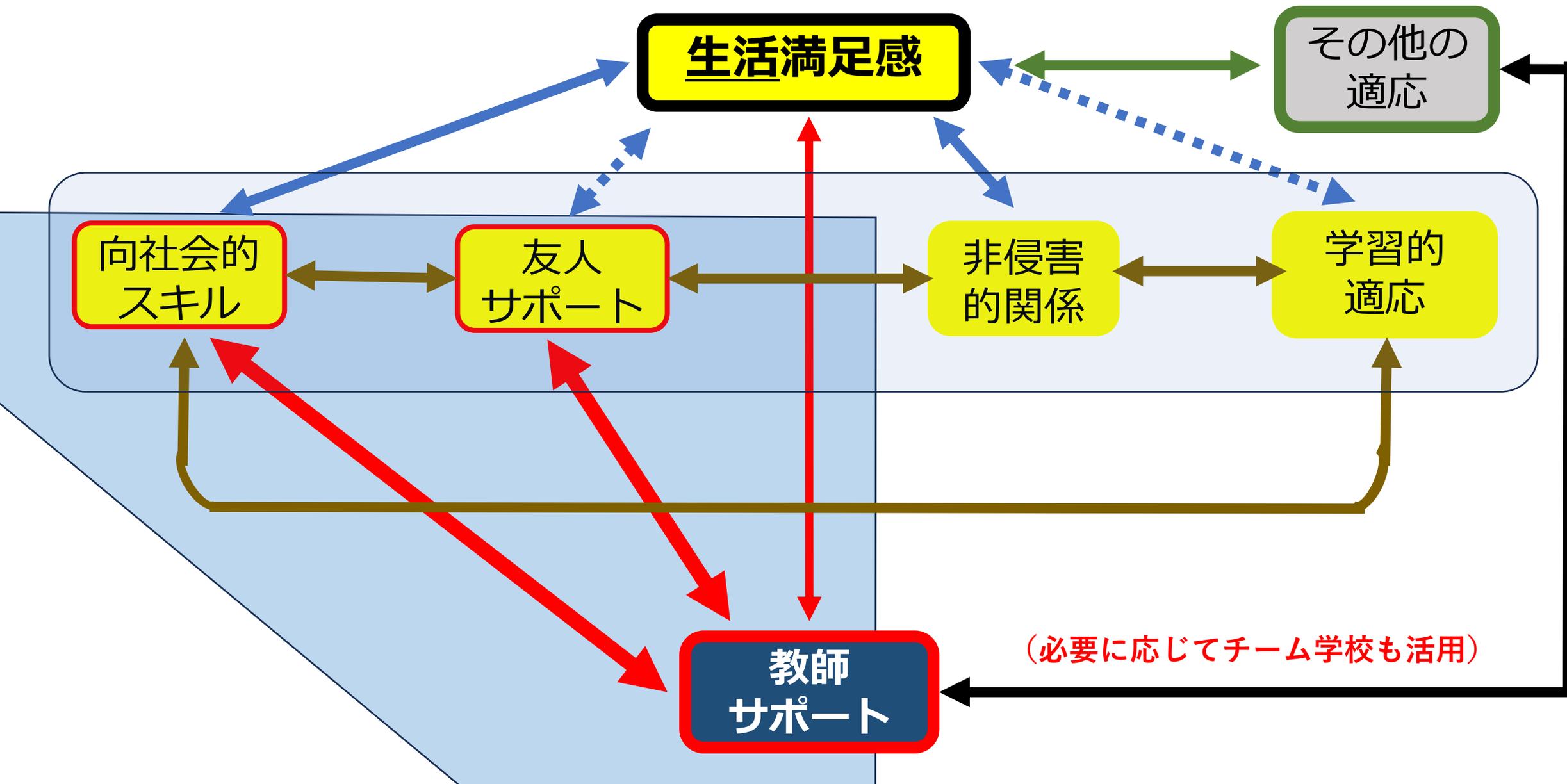
(House, J.S., 1981)

これを基点として、生徒の学校適応感を高める

授業・HR・部活動等での「教師サポート」が全体を方向付ける

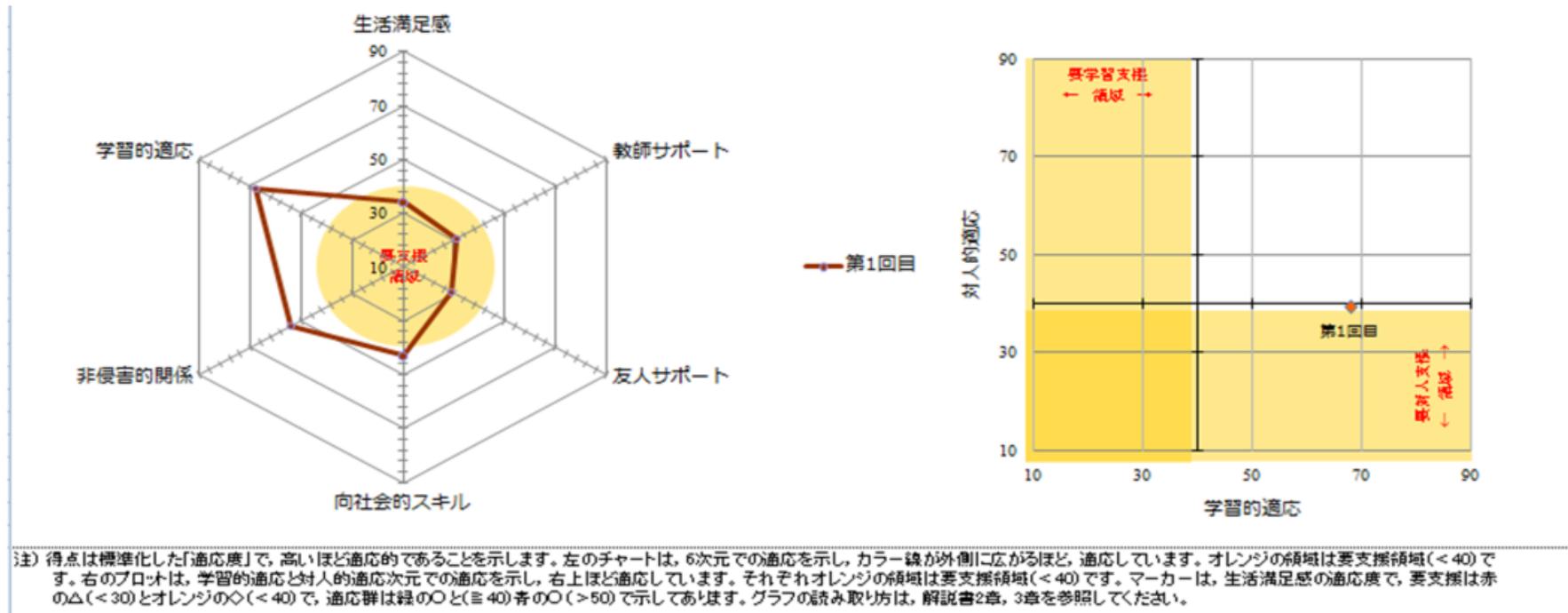


授業・HR・部活動等での「教師サポート」が全体を方向付ける



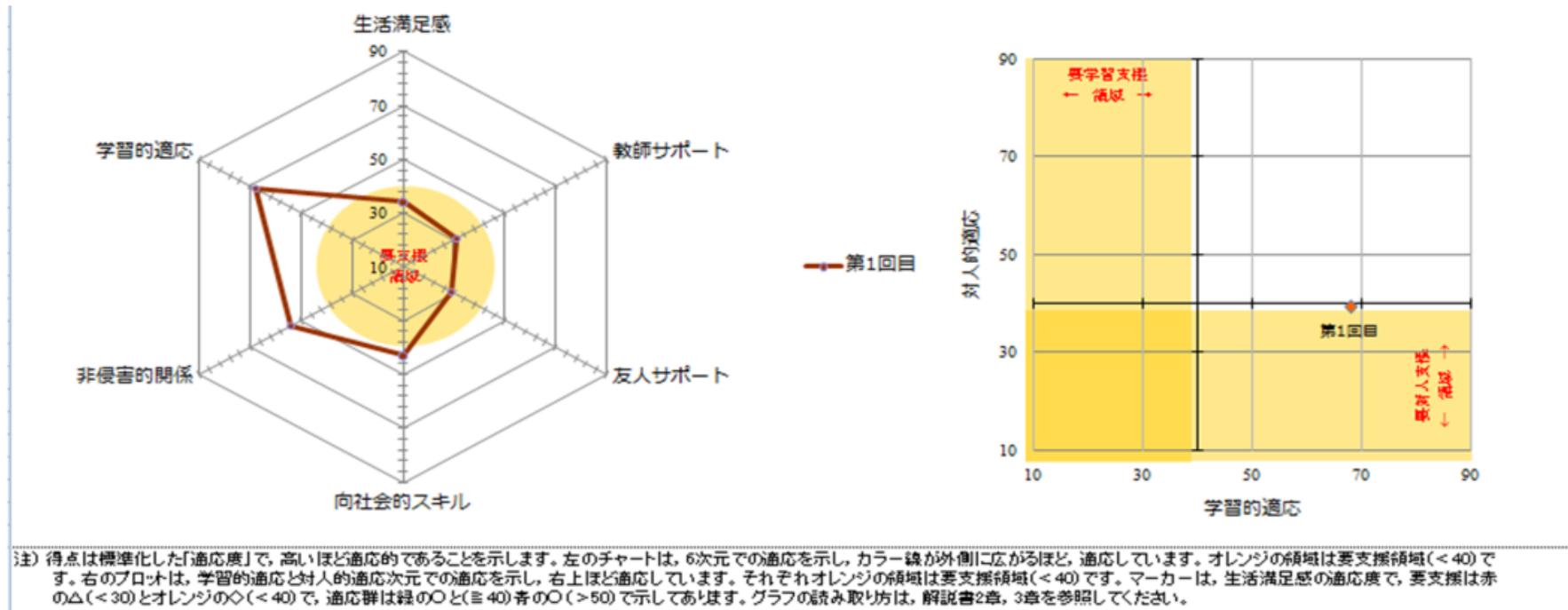
支援策の考え方(3)

- ③ 支援の大原則は、課題のある部分(因子)に働きかけること
→ その具体的な方法を探す



支援策の考え方(4)

- ④ 支援方法には、関連する部分(因子)に働きかけるやり方もある
- ⑤ 生徒同士の支えあう力を育て、仲間の力を活用することも重要
→ ピア・サポート、協同学習 など



支援策の考え方(4)

⑥ 生徒の課題点の他、Needs と Wants を把握する

- 課題点とNeedsだけに注目した取組は効果が出にくい。
(マイナスの効果になるときも案外多い)
- **生徒のWants**を踏まえた支援策こそ、打つ手のはまる！
子どもの気持ちを理解し、リソースとして活かす
- 観察・インタビュー・データを駆使し、**理論**に基づき推察する
※理論の例：マズローの欲求充足説
(カリキュラムポリシーにも含まれ、使いやすい)

支援策の考え方(5)

⑦ 生徒自身が「内発的動機づけ」を高めるように関わる

(内発的動機付けを高める3条件)

- 他者から強制されない「自己決定」(自律性)
→ 生徒の考えを聴き、考えを尊重する姿勢を示す

- 自己の能力の高さを認識する「有能感」
→ 形成的評価(出来ていることを認める) = 評価的サポート

- 他者(教師、生徒間、対保護者 等)との安全な「関係性」
→ まずは心理的安全性を保障する

1. これからの生徒指導の取組
2. アセスメントの重要性
3. アセスの基本
4. アセス個人表の読み方
5. アセス学級分布表の読み方
6. 支援策の考え方と作り方
- 7. 事例検討（理解の確認）**
8. おわりに

Q1 どの生徒のSOSを強く感じますか？(5名)

管理者チュートリアルVer.2

メモ

学校教育開発研究所

No.	性別	学年	順位	生活満足	教師サポート	友人サポート	社会的	非侵害的関	学習的適応	対人的適応	Crit項
10	1	M	1	47	65	49	56	83	61	63	0.8
10	1	M	3	56	58	38	40	63	61	50	0.8
10	1	F	4	56	52	56	62	45	55	54	0.8
10	1	M	5	51	60	54	53	45	65	53	0.8
10	1	F	6	63	55	83	83	83	68	76	1.5
10	1	F	8	83	58	83	59	33	72	58	1.8
10	1	M	9	41	67	51	62	63	58	61	0.5
10	1	F	10	41	55	56	53	53	70	54	1.8
10	1	F	11	68	47	59	35	60	63	50	1.0
10	1	M	12	53	83	33	50	66	63	58	1.8
10	1	M	15	39	39	25	40	58	61	41	1.5
10	1	M	19	51	45	44	47	49	58	46	0.5
10	1	M	20	35	65	46	59	83	70	63	1.8
10	1	F	21	58	43	54	50	66	58	53	0.8
10	1	M	22	56	45	49	44	83	52	55	0.5
10	1	F	23	37	58	28	53	53	61	48	0.5
10	1	M	25	51	55	44	47	83	52	57	0.0
10	1	M	28	41	43	36	31	56	50	42	2.3
10	1	F	28	45	65	51	56	83	70	64	1.0
10	1	F	29	58	43	59	47	83	47	58	1.3
10	1	F	30	53	60	59	64	49	72	58	0.5
10	1	M	31	60	67	51	44	63	74	56	2.3
10	1	F	32	63	63	59	59	45	68	57	1.0
10	1	M	33	66	83	59	83	33	79	66	1.0

Q1 どの生徒のSOSを強く感じますか？(5名)

管理者チュートリアルVer.2

学校教育関係者氏名	性別	年齢	メモ	T.生活満足感	T.教師サポート	T.友人サポート	T.向社会的	T.非侵害的関	T.学習的適応	T.对人的適応	Crit項
10	1	M	1	47	65	49	56	83	61	63	0.8
10	1	M	3	56	58	38	40	63	61	50	0.8
10	1	F	4	56	52	56	62	45	55	54	0.8
10	1	M	5	51	60	54	53	45	65	53	0.8
10	1	F	6	63	55	83	83	83	68	76	1.5
10	1	F	8	83	58	83	59	33	72	58	1.8
10	1	M	9	41	67	51	62	63	58	61	0.5
10	1	F	10	41	55	56	53	53	70	54	1.8
10	1	F	11	68	47	59	35	60	63	50	1.0
10	1	M	12	53	83	33	50	66	63	58	1.8
10	1	M	15	39	39	25	40	58	61	41	1.5
10	1	M	19	51	45	44	47	49	58	46	0.5
10	1	M	20	35	65	46	59	83	70	63	1.8
10	1	F	21	58	43	54	50	66	58	53	0.8
10	1	M	22	56	45	49	44	83	52	55	0.5
10	1	F	23	37	58	28	53	53	61	48	0.5
10	1	M	25	51	55	44	47	83	52	57	0.0
10	1	M	28	41	43	36	31	56	50	42	2.3
10	1	F	28	45	65	51	56	83	70	64	1.0
10	1	F	29	58	43	59	47	83	47	58	1.3
10	1	F	30	53	60	59	64	49	72	58	0.5
10	1	M	31	60	67	51	44	63	74	56	2.3
10	1	F	32	63	63	59	59	45	68	57	1.0
10	1	M	33	66	83	59	83	38	70	66	1.0

- 生活満足感が ● の生徒 3 名

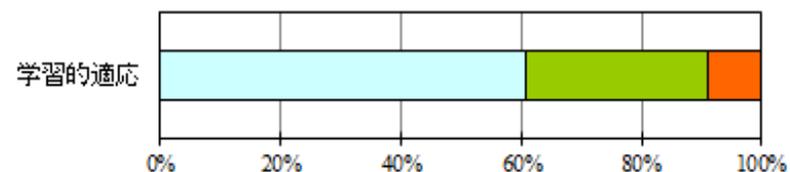
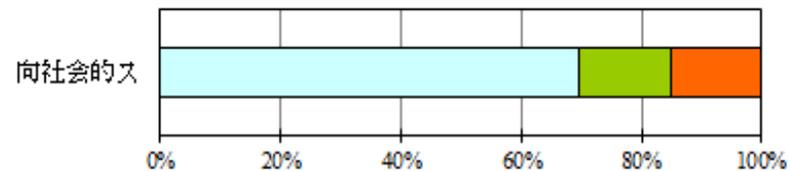
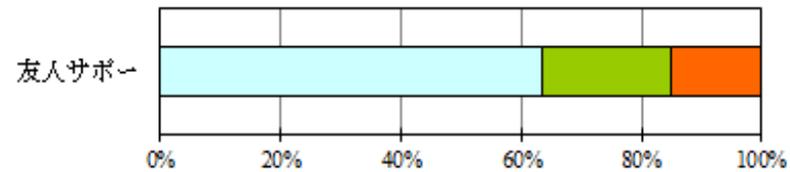
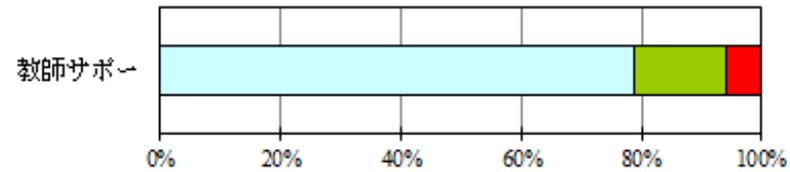
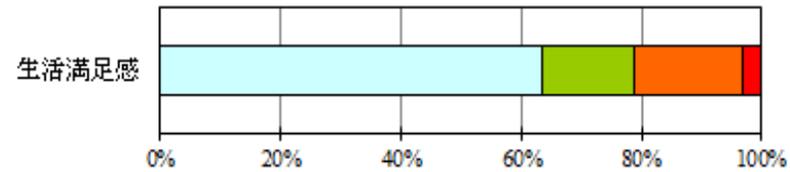
そのうちの 2 人は友人サポートが ● であり、特にSOSを強く感じます。

- Crit項が2.3の生徒 2 名

何故、虚偽尺度に引っかかるのか
その理由がとても気になります。

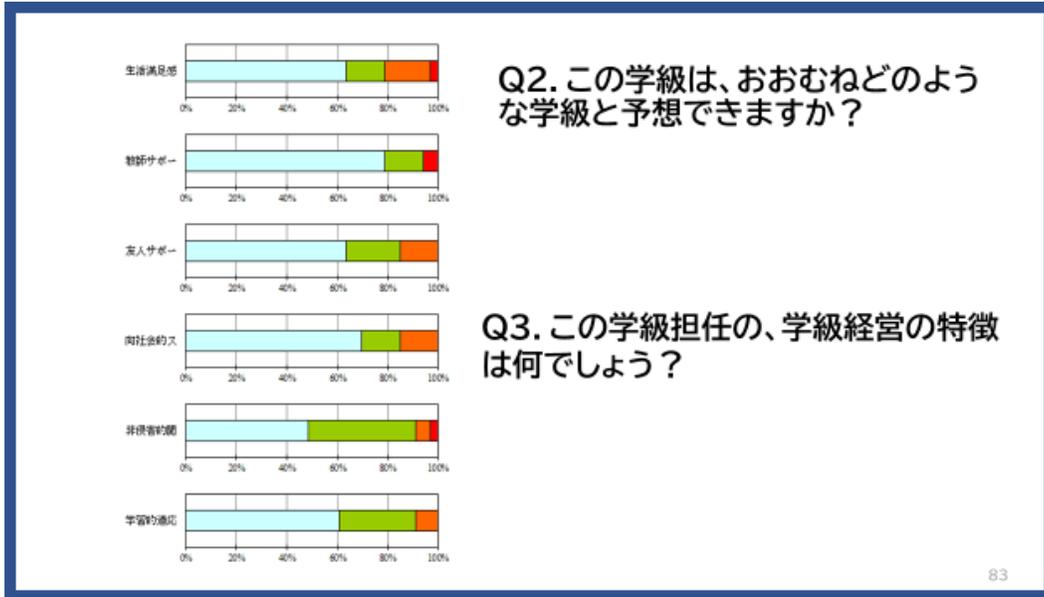
- ・発達障害からのSOSサインなのか？
- ・対教師・学校不信からのSOSサインか？

他にも気になる生徒は多数いますが、5名をあえてあげれば、この5名と考えました。

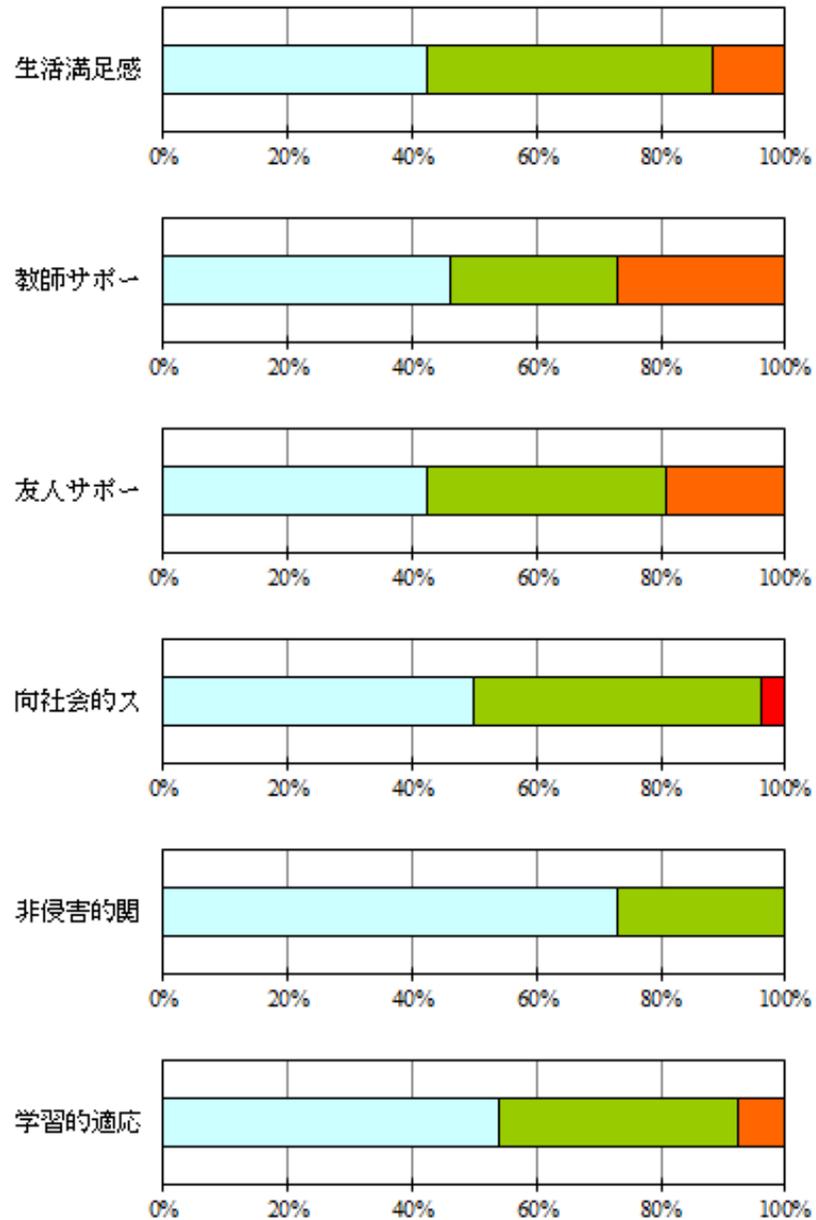


Q2. この学級は、おおむねどのような学級と予想できますか？

Q3. この学級担任の、学級経営の特徴は何でしょう？

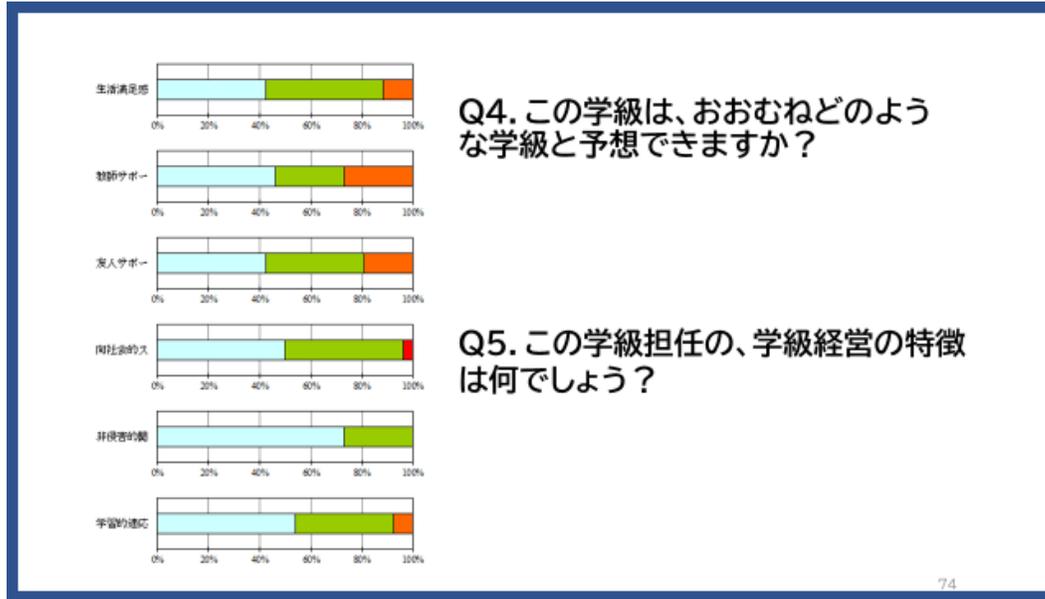


- 生徒は担任を「サポートが手厚い先生」と思っており、その安心感があるので、全体として生徒の学校適応感は高くなっていると感じられる。
- 担任は学級経営において教師サポートをしっかりと発揮していると思われる。基本的には今の支援を続けると良いと思う。



Q4. この学級は、おおむねどのような学級と予想できますか？

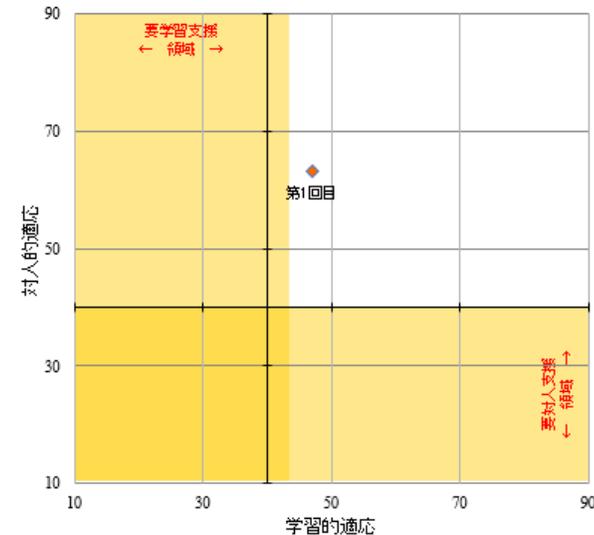
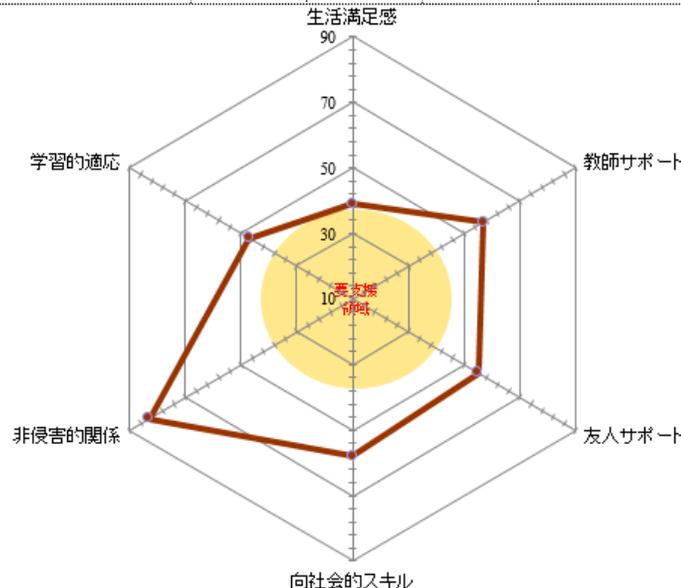
Q5. この学級担任の、学級経営の特徴は何でしょう？



- 教師サポートが届いていない生徒が比較的多いことに課題を感じる。
- 一方、生徒は人と関わるスキルを持っていると感じ、いじめも認められず、学習適応も高い学級である点が良さとしてある。
- 担任は、挨拶指導、いじめ防止指導、学習が苦手な生徒への指導など「目に見える行動の指導」を徹底し、一定の成果が出ているのかもしれない。
- しかし、教師サポート、友人サポートが高くないところからして、担任が子どもと対話して「こころに着目した人間関係づくり」をする視点にやや課題があるのかもしれない。

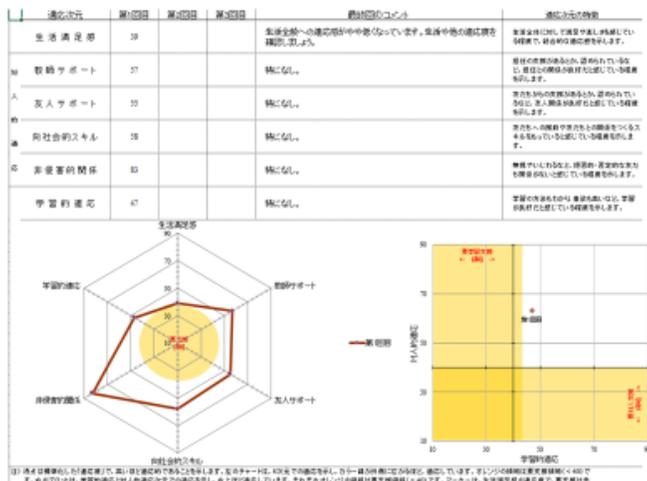
Q6 仮説から、直近の支援策を作ってください。

適応次元	第1回目	第2回目	第3回目	最終回のコメント	適応次元の特徴
生活満足感	39			生活全般への適応感がやや低くなっています。生活や他の適応度を確認しましょう。	生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示します。
対人的適応					
教師サポート	57			特になし。	担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
友人サポート	55			特になし。	友だちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
向社会的スキル	58			特になし。	友だちへの援助や友だちとの関係をつくるスキルを持っていると感じている程度を示します。
非侵害的关系	83			特になし。	無視やいじわるなど、拒否的・否定的な友だち関係がないと感じている程度を示します。
学習的適応	47			特になし。	学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示します。



注) 得点は標準化した「適応度」で、高いほど適応的であることを示します。左のチャートは、6次元での適応を示し、カラー線が外側に広がるほど、適応しています。オレンジの領域は要支援領域(< 40)です。右のプロットは、学習的適応と対人的適応次元での適応を示し、右上ほど適応しています。それぞれオレンジの領域は要支援領域(< 40)です。マーカーは、生活満足感の適応度で、要支援は赤の△(< 30)とオレンジの◇(< 40)で、適応群は緑の○(≧ 40)青の○(> 50)で示してあります。グラフの読み取り方は、解説書2章、3章を参照してください。

Q6 仮説から、直近の支援策を作ってください。



- 教師サポートから学習的適応までの5因子の値に比べ、生活満足感が低いことからして、学校外に何かしら、子どもの悩みがあるのだと思われる。

- 学校外の情報を集めてアセスメントを丁寧に行うところから取り組みを開始する。(家庭環境調査票からの家族状況、保護者面談記録等に加え、学校外の交友関係、アルバイト実施の有無など幅広く情報を集める。また、教育相談により生徒から直接話しを聞いてみる。)

- その上で、家庭支援の必要性が感じられた際は、SC, SSWの協力も得て、子どもの気持ちを確認しながら、保護者との連携も想定すべきと思われる。

Q7 仮説から、直近の支援策を作ってください。

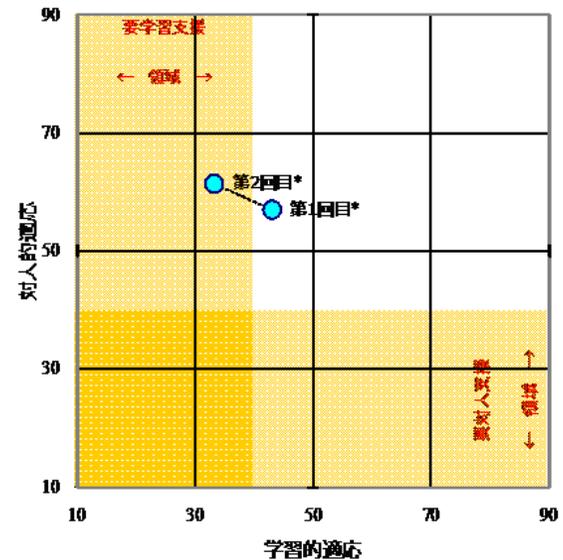
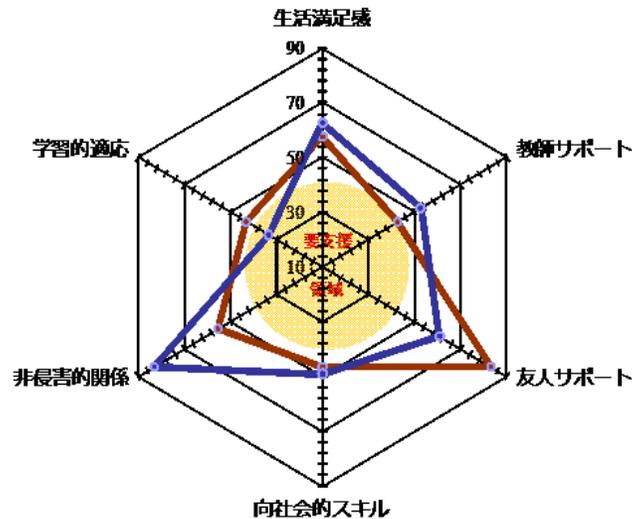
適応次元	第1回目*	第2回目*	第3回目	最終回のコメント	適応次元の特徴
生活満足感	58	63		特になし。	生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示します。
教師サポート	43	53		特になし。	担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
友人サポート	83	61		特になし。	友だちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
向社会的スキル	47	49		特になし。	友だちへの援助や友だちとの関係をつくるスキルをもっていると感じている程度を示します。
非侵害的關係	56	83		特になし。	無視やいわるなど、拒否的・否定的な友達関係がないと感じている程度を示します。
学習的適応	43	33		学習への適応感がやや低くなっています。学習の様子を確認しましょう。	学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示します。

対人的適応

57

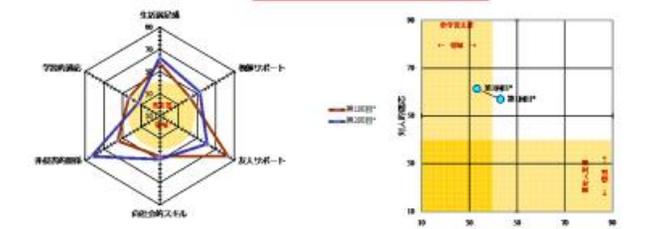
61

* 回答に矛盾や防衛的反応がみられ、結果が正確でない可能性があります。



Q7 仮説から、直近の支援策を作ってください。

通称	第1回目	第2回目	第3回目	最終回のコメント	通称者の特徴
生徒満足感	58	61		等化し、	生徒満足感に関して満足や向上を感じている一方で、総合的な満足感も高まっています。
教師サポート	43	53		等化し、	教師の支援やサポート、認められていること、適切な指導が受けられていると感じています。
友人サポート	63	61		等化し、	友人からの支援やサポート、認められていること、友人関係が良好に保たれていると感じています。
向社会的スキル	47	49		等化し、	正統的・規範的な行動規範の確立や、自己肯定感の向上が期待されています。
学習意欲	56	61		等化し、	モチベーションや、学習意欲の向上が期待されています。
学習の満足	43	53		学習への満足感が向上しています。学習の様子も確認しました。	学習の満足感から、学習意欲や、学習の継続が期待されています。



- なぜ、虚偽尺度に引っかかるのか、その原因を推測するところから始める。

【考えられそうな主要因】

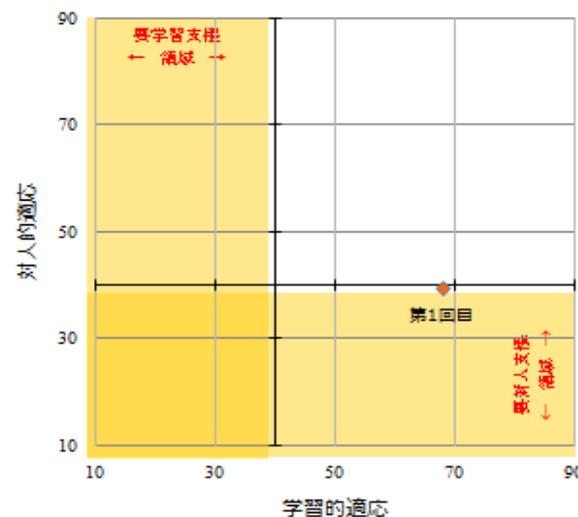
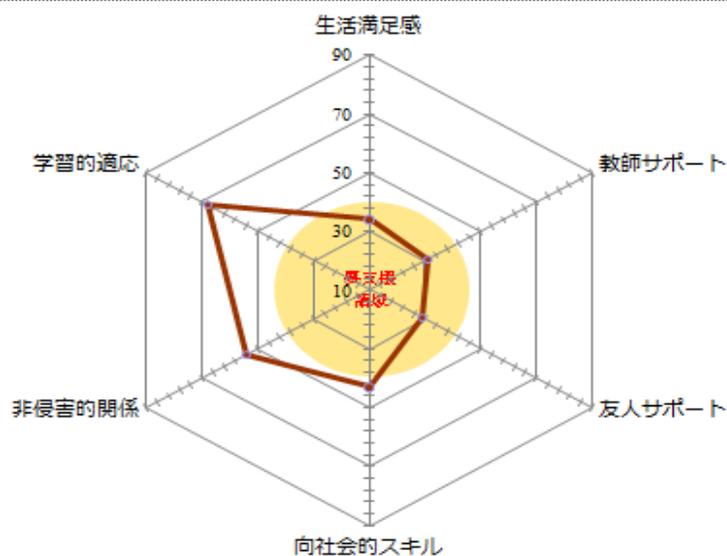
- 回答する直前に何かしらの心理的動揺を与えるようなアクシデントはなかったか？
- 発達障害等による、回答の困難さや早とちりはないのか？
- 教師不信、学校不信はどうか？

- その推測に基づき対策を考える。

- 生徒が信頼を寄せている先生がいれば、その先生から子どもに「あのアンケートの結果なんだけどさー、少し気になって教えて欲しいことがあるんだけど良いかな」という感じで直接聞いてみるのも一つの手である。

Q8 仮説から、直近の支援策を作ってください。

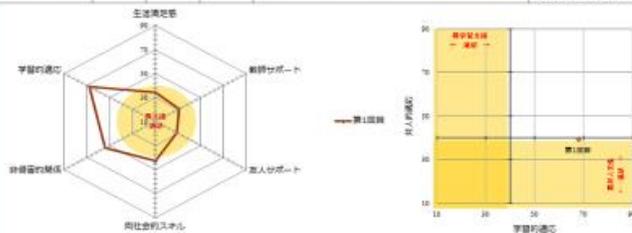
適応次元	第1回目	第2回目	第3回目	最終回のコメント	適応次元の特徴
生活満足感	34			生活全般への適応感がやや低くなっています。生活や他の適応度を確認しましょう。	生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度で、総合的な適応感を示します。
教師サポート	31			教師からの支援感がやや低くなっています。声かけなどを話し様子を確認しましょう。	担任の支援があるとか、認められているなど、担任との関係が良好だと感じている程度を示します。
友人サポート	29			友だちからの支援感がやや低くなっています。友だち関係の確認とともに、早急な支援が必要です。	友だちからの支援があるとか、認められているなど、友人関係が良好だと感じている程度を示します。
向社会的スキル	43			特になし。	友だちへの援助や友だちとの関係をつくるスキルをもっていていると感じている程度を示します。
非侵害的關係	54			特になし。	無視やいじわるなど、拒否的・否定的な友だち関係がないと感じている程度を示します。
学習的適応	68			特になし。	学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示します。



注) 得点は標準化した「適応度」で、高いほど適応的であることを示します。左のチャートは、6次元での適応を示し、カラー線が外側ほど適応しています。オレンジの領域は要支援領域(< 40)です。右のプロットは、学習的適応と対人的適応次元での適応を示し、右上ほど適応しています。それぞれオレンジの領域は要支援領域(< 40)です。マーカーは、生活満足感の適応度で、要支援は赤の△(< 30)とオレンジの◇(< 40)で、適応群は緑の○(≧ 40)青の○(> 50)で示してあります。グラフの読み取り方は、解説書2章、3章を参照してください。

Q8 仮説から、直近の支援策を作ってください。

測定次元	第1回目	第2回目	第3回目	最終回のコメント	測定次元の解説
生活満足感	34			生活全般への満足感がやや低くなっています。生活や学習の満足感を確認しましょう。	日常生活に満足感や不安感を感じていないかを、確認します。
教師サポート	31			教師からの支援感がやや低くなっています。声かけや声援、様子を確認しましょう。	授業の理解や進捗、疑問点について、担任と関係良好な関係が築けているかを確認します。
友人サポート	26			友だちからの支援感が低くなっています。友だち関係の確認とともに、必要な支援が必要です。	友だちからの支援があるか、認められているか、友人関係良好な関係が築けているかを確認します。
同社会的スキル	43			特になし。	友だちへの関心や声かけの満足感を、確認します。
非学習的関係	54			特になし。	非学習的関係（友人関係）の満足感を、確認します。
学習的達成	60			特になし。	学習の達成感や、学習意欲（学習の楽しさ）を確認します。



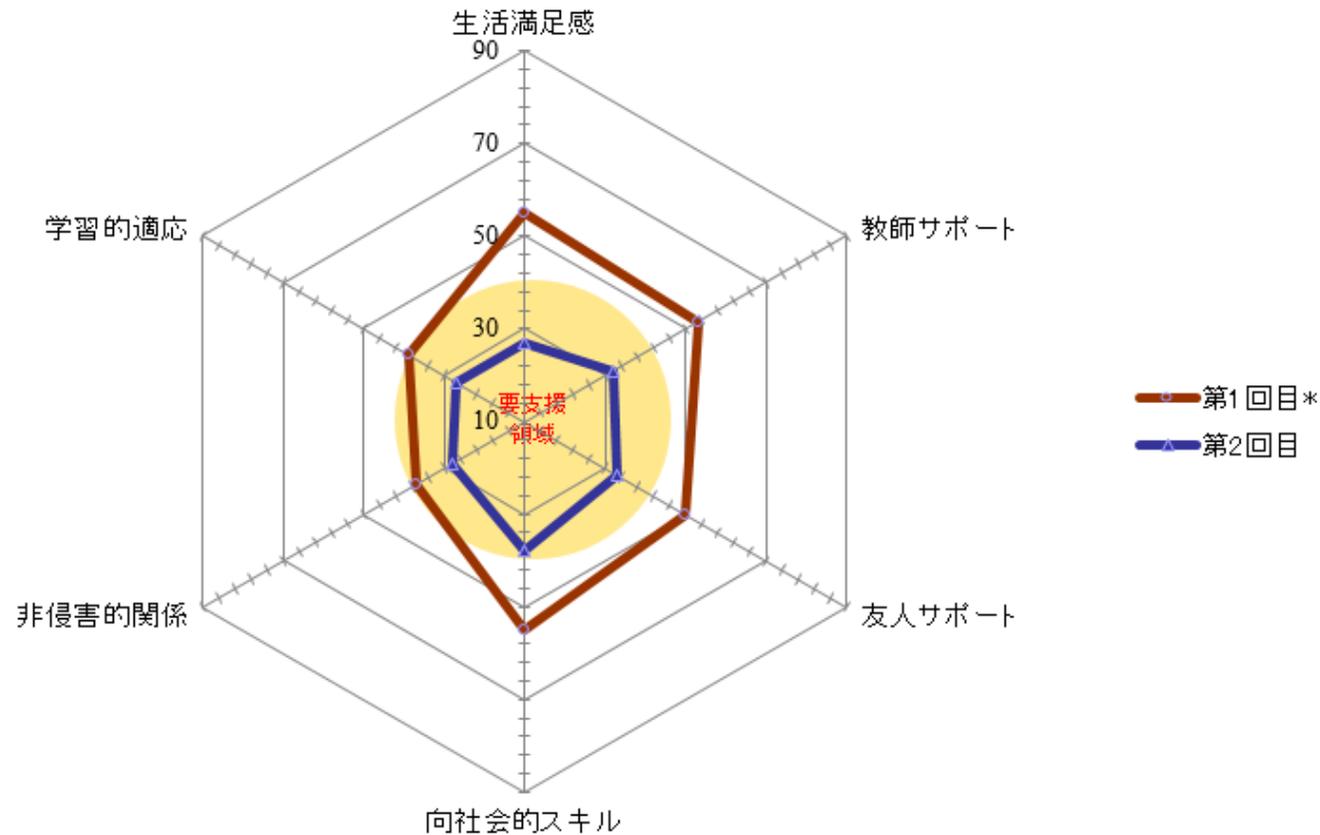
※1 再測定は標準化された測定値で、高いほど満足感や達成感が高いことを示します。このデータは、30点以下の測定値を示し、その結果が改善の方向に動いていることを示しています。そのほかの項目は改善の方向に動いていないか、あるいは悪化している可能性があります。また、学習的達成は学習的達成感の測定値を示し、高くなるほど満足感や達成感を示しています。それ以外に、同社会的スキルは同社会的スキルの測定値を示し、高くなるほど満足感や達成感を示しています。また、生活満足感の測定値は、生活全般への満足感を示しています。

- 教師サポート、友人サポートが低いことに加え、自分から人に関わっていく力も高くないため、それが生活満足感に負の影響を与え、学校生活に居心地の悪さを感じていると推測される。
- まずは、教師サポートを高めるように取り組むことから始めると良い。

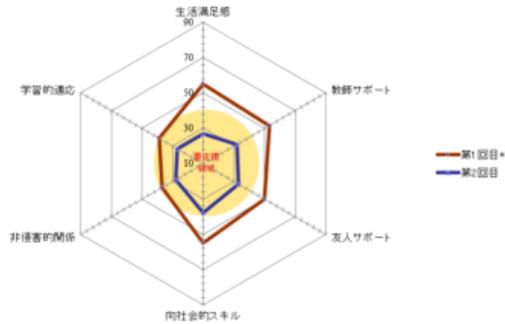
具体的には、教育相談を行い、受容と共感をベースにした生徒の気持ちの受け止めから始めるとよいと思う。

その対話を通じて、教師が如何に生徒に4種類のサポートをしていけるか、そして信頼感を得ていくか、そのヒントが得られるはずである。

Q9 仮説から、直近の支援策を作ってください。



Q9 仮説から、直近の支援策を作ってください。



88

・非常にまずい状態

(最悪、自殺する可能性がある！)

- ・ すぐに管理職に報告し、一刻も早く学校として対応に取りかかる。

一人で抱え込まない

- ・ 信頼感のある人間関係でのTALKの原則

※「非常にまずい状態」を回避するためにも、常日頃、生徒を丁寧に観察し、生徒の幸せを願い、困り感に寄り添い、**サポート→信頼感(レディネス形成)→教育的指導**の流れを作っておく。

※教育相談等のスキルを日常的に育みたい。

1. これからの生徒指導の取組
2. アセスメントの重要性
3. アセスの基本
4. アセス個人表の読み方
5. アセス学級分布表の読み方
6. 支援策の考え方と作り方
7. 事例検討（理解の確認）
8. **おわりに**



一人ひとりを伸ばし、

輝かせる教育の実現

現在も脈打つ - 創立の心“心耕” -



◀ 本校は単位制の定時制高校です。

学校見学・説明会は随時受け付けております。
お気軽にご相談・お問合せください。

一人ひとりを伸ばし、
輝かせる教育の実現

現在も脈打つ - 創立の心“心耕” -

- ① 「魅力ある学校づくり」
- ② 日常の中に教師サポートを満たす
→ そこからのドミノ倒しへ
- ③ あらゆる場面で
※ 授業・HR・部活動・清掃 等々
- ④ 何か感じたら、“チーム学校”
報連相→アセスメント→支援策→対応

参考にしてください

- 「マルチレベルアプローチ だれもが行きたくなる学校づくり
～ 日本版包括的生徒指導の理論と実践」

栗原慎二 2017 ほんの森出版



- 『ブリーフセラピーを活かした学校カウンセリングの実際』

栗原慎二 2001 ほんの森出版

- 『アセス（学級全体と児童生徒個人のアセスメントソフト）
の使い方・活かし方』

栗原慎二・井上弥 編著 2010 ほんの森出版